京城日報

六月十日夕刊 (朝夕刊を併せて八頁)

發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
發行兼編輯人 奧山[illegible]
印刷人 小川三之介

總督訓示

十日司法官會議に於て山縣政務總監の代讀せる總督訓示如左

明治四十一年韓國に於て獨立の司法機關を創設せし以來歲月を閲すること茲に十年司法の權威日に揚り民衆の信賴月に厚きを加ふ此の時に當り各位を會同し所見を述ぶることを得るは本總督の深く欣快とする所なり。

多年の懸案たりし共通法は機運漸く熟して新に公布施行せられ從來我が朝鮮と內地、臺灣、關東州との間に存したる法的關係の離隔を一掃したるは邦家の爲洵に慶幸に勝へざる所なり本法は其の規定する所專ら民事刑事の事項に關し運用の當否は懸つて司法官の雙肩に在るが故に各位は之が實施の初に當り宜しく部下と俱に研鑽討究に努め周密なる注意と正確なる判斷とに依り法意を明にし以て解釋の適正を期せざるべからず若夫徒に學理に馳せて其適用を誤り延て各地域間の統一を缺き處分に支吾を生ずるが如きことあらば本法制定の目的を空からしめ或は遂に司法の威信を傷ふに至るべし各位は深く念を此に致し法の運用に於て遺憾なからしめむことを要す。

輓近本府施政の趣旨洽く徹底し社會の秩序平靜に歸したる結果兇暴殘虐なる犯罪著しく其の數を減じ敢て峻嚴過酷の刑罰を以て臨まざるも治安を保持するに毫も障礙なきを認め客年十二月制令第三號を以て朝鮮刑事令の一部に改正を加へ朝鮮人の强盜、殺人等の犯罪に限り効力を有したる刑法大全を廢止し一に刑法の規定に依準すること〻爲せり爾來半歲幸に何等憂ふべき反響あるを聞かざるは刑政の爲寔に尋ぶべきも此の種犯罪の處分の輕重は公共の安寧に關する所頗る多大なり各位は將來益々意を用ひ寬嚴宜しきを制し治罪の目的に副はむことを努むべし

又朝鮮總督府判事檢事官等俸給令を改正し樞要の地位に在る判檢事の官等俸給を進め其の待遇を厚うせられたり是れ蓋し有能の材を擧げ司法の實績をして益々良好ならしめむが爲に外ならず故に各位は克く部下職員を指導誘掖し相俱に恪勤務に服し廉直己を持し以て司直の本分を全うし國家の附託に背かざらむことを期すべし

唯日本に頼るのみ

サマラ州代表者救ひを我に請ふ
日本出兵せば資產階級奮起せん

サマラ縣を代表し且つ歐露資產階級の叫びを代表せりと稱する二名の有力者は其窮狀を日本に訴へ其援助を請ふ可く最近哈爾賓に來り我佐藤總領事に訴へて曰く『吾人の窮狀は今や焦眉の急に在り是れを救ふは唯日本有るのみ日本は必ずしも歐露迄出兵し異るゝを要せず若し中部西伯利オムスク邊迄出兵されんか烏拉爾地方までの資產階級は之れに力づき過激派と爭ふ爲め奮起するに至る可し然れども日本の出兵せざること今日の如くして來る九月頃迄に及ばんか吾人は遂に其秩序維持及び露國救濟を獨逸に依賴するの已むなきに至る可く斯かる曉に於ては獨逸は即ち名實共露國を植民地と爲す可し其後日本が遅れ馳せに立上りたりとて日本は遂に侵略者として露國民の恨を買ふに至る可し』と而して彼等がサマラを發する際同地獨逸系の一有力者は之れを冷評し「諸君は東京に赴くよりも伯林に至りて其目的を達せよ」と言へり(哈爾賓電報)

▲サマラは露國西部の一方にあり『チエリヤビンスクより來る鐵道と、オレンブルグより來る鐵道此處に聯結す、麥作、牧畜の中心地たり』

過激派對支抗議と回答

過激派執政官は支那軍隊の國境集中と該方面の騷擾に就きボクラニチナヤの支那官憲に交渉せしが支那側は是れ過激派と獨逸軍が滿洲を威嚇し危殆に陷らしむるを防備するにありと答へたり(浦鹽電報)

支兵アチエフスカヤへ前進

滿洲里の支那軍隊一箇旅團は國境を越にてアチエフスカヤに前進せるが這は敵の來襲に備へんが爲なり(哈爾賓電報)

迂亂者長春潛入と警戒

支那政府は最近國籍怪しき者長春に潛入し同地より更に山東、上海等に入込み所在朝鮮人を煽動する疑あり彼等は撒文を携さへ居れるが其撒文は是れを白紙に書き火に炙れば文字現はるゝ頗る巧妙なる工夫を爲し居れりとの情報北京政府に達し政府は各省に向け注意す可き旨命令せり(北京特電)

敵軍前進全く阻止

最近の敵の前進は全く阻止されたりとは數日來の一般的觀測なりしが此の四十八時間內のオアズ、ランス戰線に於ける戰鬪情況は此の觀測を裏書するに足る獨逸皇太子軍の活動は其性質全然の放擲的なり(巴里電報)

米軍事費豫算提出

米國大藏卿マカツー氏は次年度軍事費豫算二百四十億弗捻出の方法を議會に提出せるが內百六十億弗は公債に依り殘餘は增稅に依らんとするものなり(華盛頓電報)

第六師團長親補

十日午前十時三十分左の通り親補式を行はせられたり(東京特電)

憲兵司令官 陸軍中將 小池安之
免本職補第六師團長

孫逸仙著門

病氣療養の爲めと稱す

支那南方の領袖孫逸仙氏は戴天仇胡漢民兩氏を隨へ十日朝八時郵船信濃丸にて基隆より門司着宮崎滔天氏の出迎を受け下關大吉樓に休憩午後七時十分發列車にて國府津に向ふ筈なるが氏今回の來朝は閑暇を得たれば病氣療養旁々舊知に面晤す可き爲めにて其他何等の要件無しと語れり氏は國府津にて當夏を送る豫定にて米國へ渡航するや否やは疑問なり(門司特電)

民事令改正發布

共通法規施行に依り改正を要す可き朝鮮民事令第九條改正の件は十一日官報號外を以て發布さる可く即ち從來公示催告及び失踪の宣告は總督府官報のみに掲載せられ居りしを今後は內地官報にも掲載する事となれるなり

司法官會議 (第一日)

司法官會議第一日は十日午前九時より總督府第二會議室に於て國分司法部長官統裁の下に開會山縣政務總監、古海警務總長、荻田總務局長、鈴木、小原兩長官、國澤務部長、有賀、山口土木、遠藤各課長出席政務總監の別項總督訓示代讀あり直ちに日程に入り諮問事項に就き協議し午後四時散會したり

軍團隊長會議 (第三日)

軍司令部團隊長會議の第三日は午前八時半より司令部會議室に開會日程の如く午前中提出意見に對する答辭あり事務打合書類の配布をなし午後各方面の見學を行なひ會議を終りたるが當日の出席者は司令部より松川司令官以下幕僚團隊長側よりは金久保第四十旅團長外團隊長等なりき

師團々隊長會議 (第十)

九師團々隊長會議の第二日は十日も引續き開會花岡師團長以下司令部幕僚大村市川兩少將外師團々隊長の列席あり日程により會議を進め午後四時散會せり

不動產登記令施行地域

朝鮮不動產登記令を大正七年七月一日より左記地域に於て施行さる可き旨十一日府令を以て發布さる可し

▲平安北道 渭原郡、楚山郡、江界郡、慈城郡、厚昌郡
▲咸鏡南道 長津郡、三水郡
▲咸鏡北道 明川郡、鏡城郡、富寧郡

土地調查減員

土地調查局判任官定員は四百三十九人なりしを六月十日より三十三人を減じ四百六名となり同日免官者に辭令を交附したり

鮮銀會議終了

鮮銀重役會議は木村理事が十日朝務歸東すべき必要ありしに付七八九三日間會議を續行して諸多の議案を決定せし由なるが右に付某重役は曰く會議は前年の決算期日時の間に切迫せしを以て右に關する打合せを主とし行務に關する凡百の事を協議せし也唯右の中今後鮮銀行の運用に重大の關涉あるものも少なからずされど今日に於ては素より發表の時期に非ず時日の經過は之を具體的ならしむべし

殖產銀行の設立

朝鮮產業界の一轉回期たらん

朝鮮銀行理事 片山繁雄氏談

資本金一千萬圓を以て今回設立する事に決定した朝鮮殖產銀行は從來分立せる

▲六農工銀行を併合統一しそれに大に增資したものであつて拂込資本金の十倍に相當する債券の發行力を附與し不動產金融以外當分普通銀行業務の兼營をも許す事となつてゐる、要するに信用の基礎を在來の六農銀を擴めたものより遙に鞏固となり著しく增大したのは何人にも睹易き事實であつて新銀行の出現はいかなる點より見るも非議を加ふる餘地はなく朝鮮產業開發のため當然斯くならねばならぬものであらう、半島の產業界は新政以來

▲長足の發展 を來してゐる、それは今更ら數字を擧げるまでもないが然も現狀を大觀すると漸く產業界發展の基礎が出來準備が整ひ一步二步と踏み出した位と云ふのは適當であらう而して今後大に此の機運を進めて行くには充實せる內地の資金を注入しそれを正しく放資して行く事が最も捷徑であり又最も有効である、それには現在の朝鮮地方農銀位では到底所期の目的の半ばをも果す事は困難である此點に於て更に大なる新銀行の出現は大なる遺憾なく內地資本の移入を企圖する事を得べく其の活動により朝鮮產業の開發は

▲著大の進步 を來す事であらう予は此の殖銀の設立を以て朝鮮產業界の一轉回期となるだらうと思ふ、唯以上は殖銀がその制令により與へられし機能を十分に發揮せし場合の事で若し銀行の首腦者にその人を得ないと折角の機關も或は世人の期待ばかりに終るやうな事となるかも知れない、そこで頭取以下役員の人選は此際最も重大な問題であつて經濟上の智識經驗を兼ね備へた達識の士を擧げねばならぬ、此點當局者も愼重の上にも愼重に人選されるやうだから恐らく適任者を得られるであらう、又

▲新銀行と東拓 との關係を如何と見るに新銀行は金融專門で押して行くけれど東拓は第一大事業會社として土地を經營し水利を行ひ植林を進め移民を募り工業を起すと云ふやうに其の事業は多端に亘つてゐる、金融の方は寧ろ一局部に過ぎぬ、又朝鮮のやうな廣い土地を開發する產業資金は東拓金融部のみでは決して十分ではない、乃ち朝鮮に不動產金融機關二系統の存在は決して多きを患へまい、成程兩者の職域は金融の方面に於て相接觸する事がないとも云へまい、然しそこは

▲適當な調和點 を發見する事に何等苦しむまいと思ふ、要するに予は朝鮮開發のために鮮銀と東拓とは相並んで行くべきものであるのみならず新銀行としても又一銀行家としても新銀行の設立を衷心より慶祝してゐる

林野調查令及調查計畫概要 (六)

總督府山林課長 田中卯三氏談

▲緣故林野に付緣故者の所有權を認むること(承前)

然るに當時の朝鮮に於て法の周知を期するに容易のことに非ざりしが故に私有林野にして地籍届を怠りしが爲國有と看做されたるもの尠なからず現行森林令に於ては同令施行前永年禁養したる國有森林は造林貸付をなしたるものと看做し一定の標準に達し造林成功と認むるものに付ては之を其の緣故者に讓與するの途を開き(森林令第十九條、同第七條)又造林成功の域に達せざるものと雖も無料貸付を爲すの途を開き(大正元年制令第十號)以て從前所有者を救濟すること〻爲せり爾來是等の緣故者より出願する讓與又は無料貸付の願件は甚だ多く大正六年二月各道をして是等緣故林野の願件數を調査せしめたるに停滯件數慶南、平北二道を除き九萬三千件將來に於ける出願件數各道を通じ百六十四萬二千件の多きに達する豫想なるが故に是等の林野を緣故者の所有に查定し得るの途を開くときは獨り緣故者に於て利便を感ずるのみならず官に於ても將來百六十餘萬件の大部分を一擧にして解決することを得べく實に一擧兩得の策と謂ふべし然れども此の特典は凡ての緣故者に付與せられたるものに非ざるが故に前顯國有私有區分標準の左記各號の一に該當するものに限り民有と認むる主旨なるに依り誤解あるべからず

▲林野圖及び林野臺帳の作製 林野の調查測量を終り道長官の查定又は林野調查委員會の裁決確定したるときは道長官は林野臺帳及び林野圖を調製して之を府尹郡守又は島司に引繼ぎ爾後林野の移動あるに伴ひ之を整理すること〻爲せり(第十七條)

▲緣故者の範圍 林野の緣故者は其の權利を尊重せらるゝと同時に直接調查に要する費用を負擔するの義務あるを以て其の意義範圍を定むるの必要あり朝鮮林野調查令施行規則第一條に規定する者即ち是なり

▲罰則 虛僞の申告を爲したる者正當の事由なくして申告を爲さゞる者又は書類の提出を命ぜられたるに拘らず之を提出せざる者に對し罰則の規定(第十八條第十九條)を設けたれども多くは土地調查令と同樣なるが故に詳細の說明を省略す(完了)

客月貿易

二千四百七十九萬餘圓
累計一億二十三萬餘圓

朝鮮各貿易港五月中の貿易額は輸移出八百八十六萬餘圓輸移入一千九百九十三萬餘圓合計二千四百七十九萬餘圓にして前年同月に比し輸移出二百七十六萬餘圓輸移入六百三十四萬餘圓合計九百十萬餘圓を增加せり而して一月以降

▲累計貿易額は 輸移出四千五百七十四萬餘圓輸移入五千四百十九萬餘圓合計一億二十三萬餘圓にして輸移入超過額八百七十五萬餘圓を計上し之を前年同期に對比するときは輸移出千六百五萬餘圓輸移入千八百六萬餘圓を增進し輸移入超過額に於て二百萬餘圓の增加を示せり次に當月貿易の內容に就き前年同月と比較觀察するに輸移出貿易に於て米は外米輸出の影響を受け中旬以降氣配軟弱の傾向ありしを以て出荷を促進せるもの〻如く內地移出に於て前年に倍加せるの盛況を呈したりしと雖も露國仕向の杜絕及び支那仕向の激減に因り

▼差引數量に於て九十八萬餘圓を增進し棉花は引續き各地綿糸工場よりの移著旺盛にして七十九萬餘圓を銅塊及び錠は中山銅礦事業の進捗に依り二十九萬餘圓を煙草は海外の需要旺盛の爲十九萬餘圓を增加せしのみならず其他生牛の十二萬餘圓黑鉛の十四萬餘圓金鑛及び沃鑛の十一萬餘圓を首め附餘の諸品に於ても亦增加の著しきもの尠からざりしを以て一面に於て大豆三十六萬餘圓其他の豆類十萬餘圓合金銀類粗銅二十萬餘圓牛皮十萬餘圓減少せしに拘らず前記の增進を告げたり

▼輸移入貿易に 於いては引續き事業用品の入荷顯著にして熟鐵に三十一萬餘圓、軌條及び同附屬品に二十九萬餘圓、諸器械に六十四萬餘圓石炭に四十三萬餘圓木材類に二十四萬餘圓、セメントに十二萬七千餘圓を增加せしのみならず綿布類は內地相場の低落に際し秋季の需要に對する思惑取引相當盛況を呈せしを以て生金巾類四十三萬餘圓を增加し其他粟四十五萬餘圓砂糖二十四萬餘圓小麥粉十三萬餘圓石油十五萬餘圓支那麻布十四萬餘圓紙類十六萬餘圓の增進を告げしに反し

▼減退せる者は 綿織絲の十八萬餘圓晒金巾類の六萬餘圓皮革類並に銅鑛の各九萬餘圓等に過ぎざりしを以て結局輸移入總額は前年同月に比し約六割の激增を告ぐるに至れり

租稅驛屯土收入

大正六年度の租稅及び驛屯土收入徵收の狀況左の如し

科目	調定額	收入濟額
地稅	[illegible]	[illegible]
市街地稅	[illegible]	[illegible]
戶稅	[illegible]	[illegible]
家屋稅	[illegible]	[illegible]
所得稅	[illegible]	[illegible]
酒稅	[illegible]	[illegible]
煙草稅	[illegible]	[illegible]
鑛稅	[illegible]	[illegible]
雜稅	[illegible]	[illegible]
朝鮮銀行券發行稅	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]
驛屯土收入	[illegible]	[illegible]

演習召集該當年次

本年朝鮮に於ける勤務演習召集期は未確定なるも多分中秋の頃召集せらるべく軍司令部に就き被召集者の該當年次を聞くに左の如し

一、各兵科上等兵 大正五年豫後備役に入りたる者
一、同士官 明治四十、四十三、大正二、五年豫備役及び大正五年後備役に入りたる者
一、各部士官 大正五年豫後備に入りたる者
一、一年志願出身各科士官 大正元、三年豫備役及大正二、四、六年後備役編入者
一、同各部士官 大正元、三年豫備役及大正二、五年後備役に編入者
一、各科特務曹長 明治四十、四十三、大正二年豫後備役編入者
一、各科下士 明治三十四、三十七、四十、四十三、大正二、五年豫後備役編入者
一、步兵科兵卒 明治三十八、四十一、四十四、大正二年徵集者
一、騎砲工輜兵科兵卒 明治三十八、四十一、大正元年徵集者
一、衞生部兵卒 明治三十七、四十、大正元年徵集者
一、步、砲、工、補充兵 大正二、五年徵集者
一、對馬警備步兵看護卒 明治三十七、四十、四十四、大正二年徵集者(以上)

但し左記の者は之を行はず

一、輜重兵及び各科 一、現役を離るゝとき服役十三年を超過したる下士、憲兵及び各科上等兵各工長(蹄鐵工長を除く)

京畿移動地調查

京畿道にては豫て管內府郡面に對する課稅地の移動地々押調查手續の作製中なりしが愈々本月六日附道訓令を以つて發布せるが是れに據りて郡は每年四月より七月迄の間に於て課稅地の移動地々押調查を施行すること〻なり面は調查著手前に

▲地籍圖の 移動關係告知書類又は移動通知圖等に依り地籍略圖の加除訂正に錯誤なきやを照查し又對照し『實地の地目と地籍略圖と順次地番號を追ひ實地に就き之を地籍略圖に依り里洞の首番地より界は地籍略圖の疆界と相違するもの〻なきや否や實地の疆界と相違するものなきや否や道路、河川又は溝渠等を濬渫し又は擴に變改せるものなきや否や林野又は河川に接續せる土地其の他地籍略圖未登錄地を課稅地と爲したるもの〻なきや否や地籍略圖上の課稅地にして道路、河川又は溝渠等の

▲非課稅地 と爲れるものなきや否や公用公共用地又は溜池若くは荒地成に依る免稅地にして既に免除事由の消滅せるもの〻なきや否や』等の事項を調查すること〻なれり而して面に於て一里洞の調查を了りたる時移動地調查簿に添付すべき申告書に關する申告義務者又は其の代理人にして其の申告を怠りたる者にして其の情狀の重き者に對しては郡より始末書を徵せられ案を具し道長官に經伺の上告發の手續を執らるゝこととあるべし本調查手續は

▲十四條より 成り稍々精密なる手續を規定せるが府に於ける移動地の地押調查も之に準して爲すものなりと

國分長官張宴

目下會同の爲入京中の各典獄及び司法官を主賓とし十日午後七時花月樓に於て一夕の宴を張る

大倉男出發

九日夜入京せし大倉喜八郎男は十日朝南大門驛發列車にて本溪湖へ向へり

小山田少佐發期

憲兵司令部副官より江原道警務部長に榮轉せる少佐小山田潔氏は來る十三日頃京城出發赴任す可し

大邱

▲慶山教育會講演會 東京高等師範學校附屬中學校教諭諸橋轍次氏來邱せるを以て慶山教育會にては九日午後四時より上町在鄉軍人集會所に於て氏の講演會を開けり▲憲兵下士異動 大邱憲兵隊管下の憲兵下士の異動發表せられたり▲府尹の招宴 大邱府尹中野太三郎氏は七日夜大邱記者團を芳千閣に招待せり▲大邱經濟狀況 大邱鮮銀支店に於て調查したる五月中の大邱經濟狀況は當月は米價下押氣味に一方朝鮮產地商の爲め移出商の買込み皆無の狀態にして此の方面の金融需要無く又綿布、夏物販賣期も其季節を過ぎ好勢に向ひたれども資金の需要は少く金融の大勢は回收に傾き[illegible]方面の資金需要も目前に切迫し[illegible]當月中の爲替取組高は[illegible]一、四九四、八四五圓拂出一、[illegible]九、九七四圓預金現在高七六五、[illegible]三三圓貸出金現在一、八〇八、四[illegible]六圓なり

人事消息

▲秋川定吉氏(支那倉庫會社專務) 九日夜京城館へ
▲野村益藏氏(大倉組安東出張所長) 十日朝[illegible]
▲立川敬徳氏(總督府編修官) 十日附[illegible]の豫定を以て東京、京都、熊本、佐賀、長崎、福岡、大分、山口、島根、鳥取、兵庫各縣へ出張を命ぜらる
▲八島朝氏(京城土木局出張所長) 光州管內へ出張を命ぜらる
▲木村雄次氏(鮮銀理事) 十日午前八時[illegible]分發列車にて東上

北遊詩草 (三)

持地六三郎

次韻船迹將軍舟中作

穩波一路喜新晴。舞水端邊積水平。回首遠山殘雪白。風光不過淸明。

次韻船迹將軍北境偶感

胡笳竹此欲連營。誰督天兵事北征。玉化移風女眞際。顯軍一路入邊城。

鏡城懷古

元帥英靈鎭晚霞。城隍景外噪棲鴉。古今幾易興亡事。只有蒼波打白沙。

十一月一日現行

◆全鮮圍碁大會の優勝者 (上右)一等高橋章之助氏(同左)二等澁谷詮氏下後列向つて右より足達重美、萩原源久、肥塚正太、米花芳太郎、伊藤猶也、西村の諸氏、前列向つて右より秋吉富太郎、合田作藏、藤井直二、野島種造、高岡林逸、森本國吉、浮田千舟の諸氏

◎雷雨の部分的觀測

鮮内四百二十の普通學校に依囑し又燈臺に託して

◇海の雷雨は夜間か黎明、山のは晝間に多い

仁川觀測所長 平田徳太郎氏談

夏季になると天候が色々と急速に變化して午前の晴天は午後には雷雨を呼び時として或は降雹あり或は暴風の襲來に會ふ等其の變移が比較的急激である、而して之等の天候は一般作物の上に於て影響する處決して尠なくない、つひ近日も三浪津に暴風襲來降雹の被害等實に十萬圓以上の損害を被つたと云ふが之等は其の被害の多額なるに比し

◆區域は常に 狹小で僅かに一部分の天候の現象たるに過ぎぬ場合が多い雷雨の如き俗に謂ふ夕立の如きは降りの邑には大雷雨が來ても一山隔てた處には陽が照つてゐると云ふ有様、甚しきに至つては同じ街でも東と西とは降雨の量と時間とを異にする如く之等は極く狹小な部分的の變化現象が多いのである然し乍ら此の雷雨には矢張り一定の徑路があり極り切つた進路方向を有する傾向があるのであるが之等の

◆精細な觀測 をやるには決して地方測候所許りでは出來ない即ち其の現象が極めて狹小な部分的であるだけ觀測も亦其の變化する地方々々の調査報告に俟たねばならぬのである茲に於て此の雷雨の觀測を頗る精細に研究せんが爲め本年四月から鮮内に在る公立普通學校四百二十校に對して其の雷雨の觀測を託する事にした、そして毎月一回雷雨報告を取つて之に依つて

◆雷雨の發生 終了の時刻から強弱、落雷降雨量其他詳細に苟も參考となるべき一地方の現象を知る事が出來之等各地の報告を相對照して比較研究するを以て其雷雨が何處に起り何處に向つて去つたか其の波及する範圍性質等地方天候の特色と云ふべきものが究められ、更になり何れの地方が最も此の種の變化があり雷雨が多いかが將來之れに依つて推斷する事が出來る様になる又一方海と陸との雷雨も其の特色を異にして居るから

◆海上の雷雨 の研究も頗る面白く且つ必要な事である即ち海の雷雨は多く夜間若くは黎明に多く山間陸地の雷雨は主として晝間に襲來するが如きは其の特質を異にせる證左だと見る事が出來る仁川に來る雷雨の當に夜間或は黎明に在る如きは即ち海の雷雨の襲來に因るもので之等の研究は同樣に之を各燈臺に託して調査報告を俟つ事にして居る

◎全鮮圍碁會 優勝者氏名

九日本町二丁目梅の家に開かれたる本社主催全鮮圍碁大會に於ける一等以下受賞者氏名左の如し

▲一等高橋章之助▲二等澁谷詮▲三等合田作藏▲四等野島種造▲五等久松當馬▲六等萩原源久▲七等森本國吉▲八等高岡林逸▲九等米花芳太郎▲十等浮田千舟▲十一等肥塚正太▲十二等大前周吉▲十三等足達重美▲十四等楠崎東陽▲十五等秋吉富太郎▲十六等添徳良之助▲十七等伊藤猶也▲十八等久松彦四郎▲十九等西村▲二十等藤井直二

(附記一二等は優勝者の決戰にて定め三等以下十三等迄は四勝者、十四等以下は三勝者を抽籤したるものなり)

◎百十五歳の老人夫婦を ▽先頭に公州 ▽橋の渡橋式

忠南公州市街の中央を貫流せる濟民川に架設しある公州橋は何百年來の古き歴史を有する朝鮮有數の架橋なるが今より約百年前嘉慶丁丑、歳洪水にて流失し其の後姑息的に屢々修理を加へ來りしも去る二月愈々從來の石橋を廢して新式の設計に成る架橋とし九日午前九時より渡橋式を行ひ左の如き珍らしき者老の親子及び孫夫妻の渡初ありたり ▲忠清南道公州郡寺谷面月下里本年百十五歳李鍾九同妻九十二歳李鍾九同長男李炳弘(六三)同妻李炳權(五七)同孫李誥衡(三三)同妻崔貴同(二二)にして當日定刻に至るや莊嚴なる降神式を行ひ上林道長官の式辭及び重なる列席者の祝辭あり前記李鍾九翁は朝鮮の古式なる仙人[illegible]

◎元訓導の惡事 黄海道瑞興郡瑞興面花谷里の林木商李悌根取調べ中なるが起訴は此の外にも松禾郡邑内居住元松禾公立普通學校訓導[illegible]に右の山を二千七百圓に賣り渡す生徒より徴集せし授業料金四十圓[illegible]

勝太郎、糸山久夫、[illegible]本辰衛、同やす、竹村せつ、[illegible]大阪山本とよ、[illegible]正原、[illegible]

▲氣壓中心滿洲北部▲示度七三二四▲記事高低強[illegible]

天氣 くもり 曇但し小雨

婦人と小供

誘惑と夏の婦人(下)

何うしても夏時に於ての間違ひの起り易い譯の證據は一般的に見ても精神に異常を來すものも多いし且つ犯罪者もまた四月の末から七月の半ば頃までに於て最も増加することは熱帶地を除いた温帶の地方何れの國でも共通の現象で之れ明かに氣候が人の性情を動かすといふ事實の證左に外ならないのであります、既に斯くの如き現象に依つて婦人の誘惑され易い季節だとすれば婦人は出來得る限り細心に注意を拂つてその誘惑に抵抗しなくてはなりませんが先づそれには柔道とか其他の武術を修め男の無暴に抗する力を養ふ事も必要でありませう、近時各女學校に於ても競つて武術を奬勵して居ることはこの點に於いて大いに好い事だと思ひます、又た一面には肉體を直ぐと外觀から窺はれるやうな服裝を避け且つ英佛の習慣の如くに良家の處女は夜中一人歩きをせぬ様にするは固より更に根本的の必要條件としては誘惑者の所爲その物の是非を判斷する頭とその誘惑された結果を豫想する知識を養ふ事にあるのであります、およそ我が婦人の大なる缺點は知識の乏しい所にあるのでありますが花嫁の背さんは既に内地をはなれて大いに發展して居らるゝのでありますが今後の婦人はこの我國運の世界的發展に伴ひ國内にのみ引込んで居られるものでもありませんから、大いに自覺して其修養に努め、一寸した誘惑に過まられるやうな腑甲斐ない事ではならないと思ひます(某教育家談)

◎兒玉大將記念像百基頒分 故將軍十三回忌に後藤男の計畫

來る七月二十四日は故兒玉源太郎大將十三回忌に相當す可きに就後藤男主唱の下に同將軍の追悼會を催し尚將軍の記念像數百基を調製し近親縁故の諸大家へ贈呈す可き計畫なるが猶廣く有志者へも希望に依りては頒つ筈なるが像は將軍の乘馬姿の銅像にて大理石臺共高さ二尺の見事なるものにて一基七十圓とし希望者は七月十五日迄に東京々橋築地精養軒内臺灣倶樂部宛申込む可しと

[illegible]

◎無縁佛に七千圓の弔慰金 渡して貰ひたいこいふ珍訴訟

東京倉庫の爆發大慘事は昨年五月五日なるがその一周年も過ぎたる今日此頃罹災者の二つの慘死體に就て近く確認の訴訟を提起せんとするものあり提起者側の主張によれば爆發の當時即死者四十五名ありしが死屍はいづれも引渡したるにあれ引取者なき五個の無縁佛ありきこれ等は法規に基き御日橋署より行旅死人として北區役所に引渡し同所は之を東京倉庫に引渡し倉庫にては之を無縁大悲會と云へる無縁死者の死人を弔祭する慈善團體に引渡したり此の引渡には一通の委任狀を附けたるのみ其の被委任者は

▲無縁大悲 會務所少僧部は大阪府堺市中之町東三丁目九十三番地長徳寺住職大阪市南區下寺町二、大蓮寺内長徳寺出張所會計大阪支店代表者上阪友次郎氏の名義にて委任者は東京倉庫株式會社なりき斯くて淨師は此のあはれなる屍體を引取りしがやがて此の屍體は奪ひ合ふの奇々怪々なる一大修羅場を演出したりと云ふは岩崎家より百萬圓を提供し他の同情者よりも多額の義捐金あり死者は約七千圓づゝの弔慰金をうくる事となりしかば昨日まで無縁の死者として顧られざりし屍體に對し幾多の

▲一族出で 來りたり之等は嚴重に調査したる上三名丈は引渡したるが遂に心覺知性信士光覺淨性信士といふ二個の戒名の主だけは誰とも判らず今日に至れり不明のものゝ死屍は北區役所發行の埋葬認許證に記し『着衣及び左右手足各二本は第二十三號の頭部骨片二個眼球二個内臓々部及び第廿二號の住所氏名不詳變死男年齡廿三年位』とまで附記しある屍體なるが市役所は之を罹災死者と認めず遂に七千圓の弔慰金は勿論何等手當すら與へざりしが謂師は矢張一般の慘死者同様七千圓の弔慰金を受けらるれば

▲大阪市に 但し年々の利子にて無縁なる二個の靈を永久弔祭したしとて近く本多辯護士を介して慘死者確認といふ訴訟を提起すべしといふ一説には謂師が前記の弔慰金を無縁大悲會へ申受けんとの魂膽にあらずやといふ者あり何にしても近頃の奇譚といふべし(東京)

◎怪獸と遞送夫 忠南保寧郡大川郵便所の遞送夫李桂根(三○)が六月四日午前三時頃大川郵便所より行囊を携へて青陽郵便所に向け保寧郡大川面竹亭里を通行中突然横合ひより小牛大の怪獸が躍り出で、同人の右上膊付に咬みつきたるも追つ拂ひ僅か輕傷を負ひたるのみなりしが是れが爲め同地方にては昨今時が大きくなり猛虎のため遞送夫が咬殺されたとさへ傳ふる者ある由なるも取調べの結果前記の事實が次第に訛傳されたるものにて怪獸は多分豹ならんと

◎黄金館割引 連續寫眞『ミラの秘密』が當地黄金館に上場せられてより今回が六回目の公開であるが寫眞が進展して行くにつれ怪奇は愈々深く怪奇は怪奇を生むので觀客をして『アッ』と叫ばしめ『不思議々々』で益々呼物となつて連夜大入の盛況を呈して居る尚今回は此外喜劇『キウピット』舊劇『宮本武藏』新派悲劇『長尺物』の七巻の模様』を加へ影寫する由、本社は例によつて愛讀者の爲め一枚二人迄共通の割引券を別欄に刷込みあり

◎蹴られて絶命 忠南青陽郡赤谷面花山里申泰俊方の鍛冶工金漢植(三○)は五月三十一日夜八時頃酒の酩酊から兩三日前に同里に入り込み隊業中の鉞打職工にして自稱福岡縣若松市生れの吉武某(三○)と喧嘩を初め荒に格鬪中漢植は某の爲横腹を強く二三回蹴りつけし爲め果は間もなく絶命せり急報に接し青陽分遣所より憲兵出張し分遣所長と共に屍體を解剖せしに内臓破裂し居るを發見し漢植は傷害致死として分遣所に引致取調べ中なり

◎王城作品陳列 既報の如く銀行集會所に於て催されたる故田王城氏の作品陳列は長谷川町の十日は日曜日の事とて多數の觀覽者あり十日も引續き好況を呈せり

◎盜品を買つた千鳥引致さる 平壤の泥棒

長崎縣南高來郡守山村生れ前川徳次郎(三○)は平壤大和町雜貨商吉村源次方の容藁を狙ひ黒羽二重友禪紋付男物縮外十四點此の價額百五十圓のものを竊取せし外同町中村好藏方へ忍び入り衣類八點此の價額五十餘圓のものを竊取し外二箇所にて賊を働き其の贓品の一部を賣却せしも平壤町貸座敷美好樓抱へ娼妓千鳥こと藤井むら(二○)に與へたることを平壤署の寺田刑事が探知し同人を逮捕すると共に娼妓千島も

◎讀者文藝(一回に五十錢の書籍券を呈す)

▲一口噺『時事』

讀者『外米は安いが味が惡いさうな』 與太公『ウーム此の頃は舶來品もあてにならんなア』(一等) 漢江通り十一 [illegible]

『[illegible]』[illegible]

▲奥村五百子女史が北滿鐵道後朝鮮鐵道の建設の必要を近衛公爵に建議した折の事公は然らば今の大官の内此の相談に應ずる器量人は誰かと問へば[illegible]

▲[illegible]

商況

東京期米特電 [illegible]

兵庫期米 [illegible]

大阪株式特電 [illegible]

大阪三品特電 [illegible]

大阪期米特電 [illegible]

下關期米特電 [illegible]

雜報

◎綿糸布小戻り [illegible]

◎鐵材連續昂騰 [illegible]

◎銑鐵更に躍進 [illegible]

◎內地製粉昂騰 [illegible]

下關相場 [illegible]

仁川正米 [illegible]

生魚市場 [illegible]

仁川期米

▲十日前場(昂騰) 先二十二圓八十錢と五錢高に寄付 [illegible]

▲大阪天候曇天 前寄二十二圓七十九錢と一昨止より二錢高 [illegible]

▲更に十五錢と沸騰 [illegible]

▲九十八錢と上伸 二錢と押し [illegible]

▲期米暴騰す 將に二十三圓の大關門を摩せんとす [illegible]

市場雜觀 [illegible]

仁川米豆取引所 七日の八月限 [illegible]

北濱たより ▲錘紡の增配 [illegible]

期米賣買之御用命ハ迅速確實ニ 仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎 仁川海岸町三丁目 電話長六五番

穀物叺縄莚 石油鐵物 各種 叺縄莚 大田本町三丁目 箕浦商店 電話長五二番

株式會社仁川米豆取引所仲買人 全昌田仲買店 仁川海岸町三丁目 電話長一〇一九

◎草集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚に雅號又は姓名の外に住所氏名明記の事 [illegible]

◎高文藝課題及び募集規定 [illegible]

[illegible]は松禾郡栗里面月峴里趙羅頭所有の松林を自己の所有なりと僞り[illegible]を手先きとして仲介せしめ瑞[illegible]四十圓を交はし殘額は迅盛が悉く豪遊消費したること發覺し兩名共此の程松禾憲兵分隊に逮捕目下[illegible]

●[illegible]九日午前入港博愛丸上陸二三等客 一等(十五名)中西九三郎、同ます、青松篤郎、柴原たよ、大倉實八郎、伏見元子、外人九名 二等(六十二名)山口守太郎、山本博雄、下田[illegible]吉岡すけ、岡さい、佐藤次年、[illegible]一政、笠松公吉、鈴鹿良毅、岡崎[illegible]三郎、阿部文議、渡邊[illegible]郎、佐方花枝、易思、增田利八、[illegible]秀、櫻庭卯次郎、中田秀治、松島健三、岡重吉、岡貫一、河內確吉、山田喜四郎、生島明鏡、岡枝德四、寶井勝吉、盟府千代富、樂谷かず[illegible]羽やち、山城ます、石川錦太郎、山阪貞吉、山縣りゆ、山口世治 三等(九十二名)

◎暴風警報(十日午前九時半發)

[illegible]制度にて販賣せるが本年度より[illegible]原、居昌、四郡を除き他郡は共同販賣制を六月五日より施行され指定買收人大邱山十組代表者稻爪鎮吉氏に決定せり(晉州)

▲川柳『無』
▲抑めみ
▲物は付『耳ざはりになるもの』 十二日 十三日 十四日 十五日
▲謎『謎かけて』 十三日 十四日 十五日 十六日
▲二口噺『時計』
[illegible]表後一週間以內に[illegible]には五十錢[illegible]但何也何號と明記に限る▲死名は京城日報編輯局謎文藝係者

婦人の讀書力

＝婦人向の雜誌と讀者＝

◇戰爭の影響で紙の價が非常に高くなりまして日々斯うして讀んでゐる新聞紙でも大した暴騰で致し方なく値上げを實行せなければならない有樣になつて參りました、從つて雜誌などの定價も大分あがりまして婦人向きの雜誌もこの影響を受けて直段をずつと上げましたから經營者は讀者が減るであらうと心配をして居りましたが減るどころでなく

◇反つて殖えて行くので孰れも意外に思うて居るさうであります、これは雜誌經營者の努力にも依る事でありませうが、主なる原因は婦人の知識慾が旺盛になつて、讀書趣味が普及されたゝめであらうとは喜ぶべき事に思ひます、又近頃迄は父兄や教師は娘や女生徒の婦人雜誌を讀む事を餘り歡迎して居りませんでしたが、近頃は雜誌が進歩して內容がしつかりして來たのと父兄や教師達の頭が進んでまゐりましたので、適當な婦人雜誌なれば之を讀む事を奬勵するやうになりましたのも婦人雜誌の賣行きのよい二つの原因であらうと思ひます

◇近來雜誌の編輯振りが大分變つて參りまして婦人雜誌の方でも餘程變つてまゐりました、以前は一般向きの婦人雜誌が可成り勢力を占めて居りましたが、雜誌の種類が多くなりましたのと、讀者の鑑識眼が高くなりましたので特徵のない一般向きの物は漸次顧みられないやうになりましたから何れの婦人雜誌もその特徵を一層濃厚にして固定した讀者をはなさない工夫をしてる樣子であります

◇今日のやうに婦人雜誌の種類が多くなりますと、かうした努力は誠に好いやり方であらうと思ひます、新綠の時季から夏へかけて日が長くなりますと益々賣行きが盛になるとの事でありますが

◇讀書趣味と一口に申しましても多讀亂讀が何も効のある理由ではありませんし今日の樣に多數な中には或は面白い影響を及ぼさない物がないとも限りませんから先づその選擇に注意しなければならないと思ひます。(淚光)

妙心寺禪堂棟上の餅撒き

寫眞は九日午後一時半から擧行した臨濟宗妙心寺の禪堂棟上の餅撒きの光景で三千餘もあらうと思はれる高い棟の上に登つて餅を掴んで投げた人の中には芳賀博士、森宏博士、[illegible]の顏が見えた

對支那貿易は想像以上に極て

困難なりと茂木惣兵衛氏語る

横濱茂木合名會社代表者茂木惣兵衛氏は上海より漢口に入り長江を遡り漢口を經て北京に入りたるが其の談に曰く『本社は對歐米輸出入貿易に從事したるが日支の經濟關係密接となれるに鑑み一昨年より漢口上海天津濟南等に支店を置き對支貿易に著手することゝせり今回旅行は百聞一見に如かずとして支那の商工業狀態を視察する目的なり余の視る所によれば對支貿易は想像以上に困難なり對歐米の貿易は商業上の調査が完成し居るより新たに販路を開拓するに餘り困難ならず反之對支貿易は材料の選擇貨物の價格を附けて之を市場に賣出すには非常なる困難あり支那內地の原料を其の地にて加工するか日本にて加工するかは實際問題なるも上海或は漢口等の商業地に製造工廠を置き其地にて加工すれば運賃を節約することを得却て利益なるべしと思はる歐洲戰爭終止せば世界の要求する物資は支那より仰がざる可らず即ち支那の原料を支那或は日本にて加工し之を倫敦或は紐育又は里昂に輸出することゝなるべしさすれば日支の經濟提携は更に一歩を進むる必要あり從前日支合辨事業には種々の弊害ありて希望の如く好結果を見ず其の原因何處にあるかといふに合辨業の權利々益の不公平に起る將來の合辨事業は日支人の平等の權利平等の利益を根本とし企畫せざる可らず斯くして經濟提携を擴大せば日支兩國の富力を增し東亞國民の幸福益々增大せらるべし』と同氏は歸途南青島を視察して歸國すべし(京北)

蠶況＝走り＝

◆黃海道平山地方◆

黃海道平山郡にては養蠶旺盛にて如何なる農家にても蠶紙の一枚や二枚を有せざる家なく殊に京義線汗浦市場の如きは桑を買入れに來るもの一日昨今三四十人位あり市日の如き桑嬉に是等の買入人蝟集し頗る混雜を極め居れり爲に桑の相場も非常に昂騰し木込み一貫目二三十錢位なるより養蠶を捨て自家栽培の桑を賣放ち居る如き滑稽を呈せる狀態を示し居れり(汗浦)

◆大田と繭の出廻◆

大田の繭は日に增し出廻り多く十日大田郡にて入札ありし盛況を呈せるが買入所は岡谷共由十小坂商會東洋社大田支店等なるが各買入所共盛觀を增設して買入れつゝあり(大田)

◎倍額に達したる 間島貿易額

僅か一年にて

土地の豐沃人口の增殖を經緯として之れに北鮮諸會線鐵道の開通と俟つて鮮銀出張所の活動と邦商の飛躍を加へ時局の影響之れに伴ひたるため大正六年に於ける龍井村經由輸出入額は空前の最高記錄を作れり曾つて大正二年は間島無二の豐作たりしため同年の輸出入總額は八十四萬五千五百十四兩とありて異數を示したるものなるが昨大正六年は輸入八十一萬一千兩餘輸出四十六萬九千九百兩餘此總額百二十八萬一千百十三兩に達し大正二年の輸出入額を拔くこと輸入に於て約十四萬兩輸出に於て約二十九萬五千兩總額に於て實に五割強の增大を現せりまた之れを大正五年に比する時は輸入に於て約三十八萬兩輸出に於て三十六萬兩增進し總額に於て殆んど倍額を算するに至り輸出は從來の記錄を破り大正六年は前年の四倍額に達し間島貿易の益々多望なる一端を示すに至りぬ而して之れを本年に豫想するに農產本位を以て趣す間島にありては農狀に異變なき限り必ずや是れ以上に增進膨大さるるものとせらる(間島)

鬚德利

＝傳來は未だに判らぬ＝

名づけて鬚德利といふも假りに然く稱へるので、大は八寸位、中は五六寸、小は二三寸とし、長鬚を垂れた老顏の標印ある形相の面白い手附き德利である。異國趣味の特色ある窯物で和蘭陀渡りの古物だが目利きの中には白耳義の作だと說くものもある。恰も備前燒か唐津燒の如き釉藥が掛かつて、稀には瑠璃色の飛び釉が點々美を添へたのもあり、底面は茶入れ杯と同樣に左絲切となつて居て、口造りに二段の環を迴らしたのが注目點である。特徵の髭面は刻したのと捺したのとあり、優と猛と容貌も必ずしも一定したものでない。此の印しは德利の上部に在つて下部には樣々なマークを表し、中には楯もあれば楕形のもあり、王冠[illegible]馬の古武士とも看るべき人形を三方に並べたのも現存する。

好事の心を動かし

形相の珍なると存在の稀少さが

以前からこれを目覺けて居たものもあるらしく、大阪の岡田某を名數の第一とし、京都の吳服問屋杉浦氏は自家の百趣味を落述した一書の表紙に、此鬚德利の圖を現はして居る程の凝方である。東京では畫家の山村耕花氏が頗る熱心な玩賞者で、現に上野で開會中なる國民美術展覽會の參考部に所藏の二三を出陳してあるが、古參では同じ畫家の結城素明氏あり、白釉の一品を所藏する。耕花氏は昨年の秋頃一友人の許で一つを一見し、無上に氣に入つて懇望の結果漸く手に入つたのが抑もの皆緣で、それから關西旅行の路次名古屋の骨董店で發見けたり、京都、大阪、九州方面までも獵つて、東歸した時には收獲五本に及び、短日月の間に今では既う十本程の所有者となつた。そんな勢ひだから種々の尤品も持つて居て、就中和德利なぞは面白い箱書まである。それは紀三井寺坂下岩崎會擔の署名で、文政初年に購入した旨を記した上、當時

其米幾俵かと交換

米何俵かりしが右の鬚德利は

したことまで併記しあり、後年一對の中一本丈紛失したらしく、一方の箱には天保年間再び一對となつた書附けがある。凝性の耕花氏は唯蒐集め許りでなく、及ぶだけ研究もして一ぱし通人となり濟まし、初めは明瞭しなかつた製作時代に就いても、最近有力な材料を獲て推定するに至つた、といふのは某所で同種同樣式のピッチャーを掘り出したら、それに一五八八年の刻記があつた爲我が天正十二年頃のものと判つたのだらうな。

多分は酒か藥品の

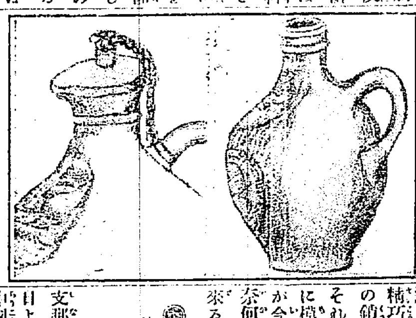
傳來は確然さうへないけれど

容器であつたと見るべく、鬚の顏は其藥品を發明した學者などの肖像であるが、海外の美術誌には白耳義古陶器に國王の顏を印したとが載つて居たから或は夫等のものかも知れないとの話。日本で此品を愛翫したのは可なり古くからで天保頃鶴岡で殺された和蘭陀の使者を弔つた俗稱和蘭陀寺に往つ、其頭領年の忌日に寄德利が一對づゝ和蘭陀から來て

奪ひ合つた傳說が

土地の人民は其欲しいた德利な

あるし、花見德利として提重に仕込んだらしいのには、銀の捻器に精巧な櫻花を彫つて、同じく銀製の鎖を附した立派なのさへある。それのみならず唐津邊りでは盛んに模造もしたと見しく、其手の品が今でも殘つて居るのを見ても、奈何に尊重されたかを知ると出來る(東京)



◎支那にて今回新募集の國債

◆有利なれど應募尠し◆

支那中央政府に於ては去る五月一日より來る六月三十日に至る間に中國交通兩銀行より借入れたる舊債を償還する爲め民國七年六厘利附短期公債四千八百萬元及び十年据置二十年償還六厘利附の民國七年公債を募集すべく計畫し各方面に對し該公債應募者は國庫の公債償還をなすと共に人民の貯蓄を便にし且つ此れが爲めに叙上兩銀行は許りて以て金融界に活動をなし得べく一舉にして三得あるものなれば地方各省長等は宜しく此の旨を體し應募の成績良好なるべく盡力すべき旨夫々通牒する處ありたるも而して該公債は目下の處應募者極めて僅少なる模樣なりと

右につき安東縣を

經由して北行せる交通銀行某氏は語つて曰く

『今回の國債募集は本年一月中既に決定してゐたものであるが色々の事情から近來になつて發表したのであるが元來彼の北清事變に於ける各國の損害賠償の五箇年延期されたる爲め四千八百萬元の剩餘金を得たるにより是れを以て

舊債を償還し且つ

故に政府は此の際中國交通兩銀行に對する舊債を償還する目的を以て右二銀行にのみ其の權利を附與したる處斯くの如き有利なる公債を募集するにも拘らず一般に募集せざるは極めて不當の處置なりとて或地の商務總會の如きは行政訴訟を提起したる程のものであつたが扨て愈々市場に賣出して見ると案外に應募者が尠い樣であるから不思議千萬の事である、が大體に於て支那の事は今日を以て明日を推測するを許さないから、又本月も三十日に

なつて見なければ

◎果して何となるか判らないから

が兎に角有利な公債には相違ない即ち目下の不換紙幣の相場は六十四五圓見當だ其れで拂込んで現銀で拂戻すのだからそれのみで三十五圓の利息は見られ更らに六分の利息付きだから短期の方は一割三分位に

二十箇年償還の方も八分乃至

九分には利廻りが見られるから

◆決して不利益な公債でない◆

又國家は其の應募者の如何によつて彼の不換紙幣の整理が行はれるか否かと云ふ瀨戶際であるから國庫にとつて應募者にとりても有利な公債である

第六回公開 新派悲劇血染の模樣 ミラの秘密
活動寫眞 黃金館
京日讀者優待割引券
普通入場料 一等四十錢 二等三十錢 三等十五錢
割引入場料 一等卅錢 二等廿錢 三等十錢
六月十日より十三日迄午後六時開場 (一枚二人共通)
京城日報社

演藝案內

京城壽町 壽座 電話五七八
日本歌劇協會一行 當る六月八日より二回替狂言 午後五時開演
△喜歌劇『女軍出征』一場
△翻譯劇『暗の家』三場
△佐藤紅綠氏作『血の樣な椿』一場
△諷刺劇『良人』一場
[illegible]

黃金館 電話二六三七 二二六六
天然色活動寫眞株式會社京城一手代理店
△九日より十日十一日の三日間各等共特に半額に割引致す事に相成候間御誘ひ合せ御來觀の程願上候
當る六月八日より特別興行 △第六回『ミラの秘密』全四卷
△新派悲劇『血染の模樣』全四卷
[illegible]

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番
△六月九日より開演 △京阪落語々樂會一行
△落語(小遊)△落語物まね(遊玉)△落語手踊(遊生)△落語音曲(花輔)△浪花節(笑三)△落語手踊(右圓遊)△落語音曲(幸二)△大切喜劇(座員總出)
△今回も亦々入場料金大勉強

有樂館 黃金町
東京小林商會活動寫眞特約 早川演藝部直營
當る六月八日より
第二回ブリウバード大會
◎社會劇『文身美人』全五卷
◎教訓劇『クリスマスカロル』五卷
◎『一箇兵士旅行の卷』
[illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
[illegible]全二卷
[illegible]

壽館 京城本町 電話一〇五〇
[illegible]

▲初日忽滿員 お馴染の!! 京阪語樂會
落語(浪花節、喜劇、手踊、音曲)
◎入場料は亦々破格勉強
浪花館

大連燒酎
先づ一瓶を求めて他品に超越せる芳烈なる香味を試みよ
特約販賣店 仁川 河野竹之助 木浦 阿部儀右衞門 同 山口幸三郎 釜山 增永榮三郎 同 山邑支店 鎮南浦 吉富清助
釀造元 大連燒酎製造所

質 倉庫完全 債券買入 京城櫻井町三丁目 電話二一〇三番 杉本質店

佛力堂 高橋竹野
太田トランプ 吉凶禍福的中 占斷部開設
料金は當分の內御依賴者の任意にて最も懇切に占斷可仕候
京城府櫻井町一丁目百三十二番地(本町より入る右側五軒目)

◎解雇廣告
伊藤文之助
右使用の處今般都合により解雇候 依て今後一切關係無之候也
家守 黃金町三丁目二五五 諸戶安太郎

宮內省御用達 三ツ矢サイダー 平野水 コローナ 帝國鑛泉株式會社
京城三ツ矢サイダー組合
組合員 龜屋商店 河野出張所 辻本商店 山邑支店 藤田商店
事務所 京城明治町 山邑支店

銅鐵線 河本製線工場

京城 朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
支店 東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、青島、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村、鄭家屯、上海
出張所
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候
振替貯金口座 京城三三三番 電話 六〇一〇番

防水布雨具

卸問屋 大阪市京町堀通 奧田商會 電話土佐堀九三三 振替大阪二三一一七番
攝津伊丹町 奧田防水布工場 (寫眞裏表無代進呈)

六月十一日より每日(自午前九時至午後六時)
繭賣買入札開始
右精々勉強御取扱申候間多少に拘はらず御出荷相成度廣告候也
釜山南海繭絲商會 龍山出張所

Gonothyl 淋病內服藥 ゴノチール
極メテ合理的ニ創製セラレ效卓越セル治淋劑トシテ益々醫界ニ賞讃セラル
一容器 三十球入 六十球入 百球入
大阪市道修町 西村藥林社
各地有名藥店ニアリ

內外科 小兒科 花柳病
京城本町二丁目(壽館前) 電話二一六番 高井醫院
院長 正六位勳四等功五級 高井貞治
副院長 千葉醫學士 松崎正彥
診察自午前九時至午後九時 日曜祭日正午迄

豫報 [illegible]

塚原卜傳

第百三席 悟道軒圓玉口演

塚原小太郎、鬼小島鐵の兩人が言葉を辭退しましたから兩人も尤もと思ひ『然らば我々は止まつて山名氏に力を添へ義昭公を守護して逆賊誅伐を急ぐこと』いたさう』と茲で契約をして小太郎に別れることになりました一同何んとなく名殘り惜しさに豪傑泪を流して居ります、斯ては果てじと小太郎は再會を期して清瀧峠を下り大和路より伊賀越をして東海道に出で東國を指して下る、此方は山名監物初め四人の勇士は少時小太郎の行方を見送つて居りましたが之も泪を拂つてお伊登を連れ清瀧峠[illegible]り、其夜は寺に泊り翌は行けば[illegible]晩になると途を急いで三室戸寺へ引上げて來て義昭公に長慶を討つたる顛末を語りましたから義昭公も大に喜こび、一同の働き、分けて小太郎の忠節を感賞に及ばれました、さてお伊登も姉白妙が定めし案じて居ることゝ思ひまして山科興正寺へ戻つて來ると姉白妙は固より顯尊上人もお伊登が行方知れずになつて遺書を見て心配して白妙は狂氣の如くなつて居た處へ歸へり死者が蘇つたごとく打喜こび、また長慶を討つたる話しを聞いて、之れで父玉非掃部殿の恨らみも晴れるであらうと泪に暮れて喜びましたのは孝女の心底さこそあるべき事であります、茲で顯尊上人も姉妹を連れて三室戸寺へ赴むき義昭公初め人々へ面會して種々の物語りをいたし、寺といふものは世を忍ぶに偏強でありますから、少時之れに忍んで再擧を圖つて居ります、此方は三好長慶、大信寺に於て敢なく討たれ、其者は塚原小太郎であることは判つたが其餘は何者であるか更に知れず、八方へ人數を配つて穿鑿をいたしましたが早くも落延びた跡で一向手掛りもなく、殘念ながら長慶の死骸は飯盛城へ引取り、直ぐに此事を川邊へ出陣中の嫡子義継、其外一黨の面々へ知らせる、依つて田邊の圍みを解き義継は歸國いたし、獅味方の人々も集まり長慶の屍骸は大信寺へ葬むり、厚く回向をいたしました、さて義昭公は山名と相談の上、鬼小島鐵の兩人の力を借り、義兵を擧るつもりで近江路へ逃きましたが、其内細川も田邊を出で、義昭公に力を添へることに相成る、此邊は大畧をいたしまして、お話は戻つて塚原小太郎伊賀より伊勢に出で四日市より便船に乘じ東國へ進む、此時尾州熱田なる小笠原丹波守の許へ書面を送りまして、先年の厚誼を謝し立寄らぬ失禮を詫び、海上恙なく駿州清水港に落しました、之れから陸路を急いで武藏國へ入つて參りましたが、武藏國江戸小石川村に島村小太夫といふ人があります、之れは小太郎の母方の叔父で先年此邊を徘徊した時逢々訪ねなかつたが、何うしたかと思ひ一先づ之れを尋ねるつもりで江戸へ入つて參りました、まだ江戸といつても武藏野の原の儘あつて物淋しく、目黒の里へ入つて來たのは其日の暮方でございます、小太郎が今宵は此邊へ泊るつもりで歩いて來ると後ろから十二三になる男の子が跡になり先になり歩いて來る、小太郎立止つて小『小倅や、お前は此近所の者か』○『ハイ私は此先きの者でございます』小『さうか此邊に泊るやうな家はあるまいかな』○『さうでございますね、此邊は淋しい所ですから旅宿といふものはなし、人家といつても御覽の通り所々にある位ゐでございますからお泊りになる所は……』小『それは困つたな、然らば小石川まで歩くとしやう』○『若しお困りならば私の宅へ一晩位ゐはお泊まりになつても宜しうございますけれど生憎病人があるので夜の物もございませんしお構ひ申すことが出來ませんから其れさへ御承知ならば』小『ア、其れは何より忝けない』。

人參王 京城本町壹丁目 電話一四八〇・一八七〇番 ㋡津村兄弟商會

暦 六月十二日九星 舊五月四日庚寅 本命一白北成女引

▲一白● 物の破綻を意味する日新事見合西方は[illegible] ▲二黒● [illegible] ▲三碧● 効勞なき日[illegible] ▲四緑● 優越なる日轉居[illegible] ▲五黄● 取かへしのつかぬ事有日新事手控[illegible]一切のかけ事を禁ず ▲六白● 清美の日[illegible] ▲七赤● 利なき日[illegible] ▲八白● [illegible] ▲九紫● いかさまの事有[illegible]交際に注意せらるべし

牛乳 御用 岡野牧場 京城東四軒町 電話一〇六九番

日本一 最上清酢 ㋮ マルカン印

三ぼし味噌

飛龍 醤油 上 日本醤油株式會社 京城出張所 電話二四五番

ゴム風船 ゴム風船、ゴムマリ、ゴムホース、ゴムズキ、ゴム原料各種製造問屋 西村多吉商店 東京市神田區通新石町十五番地 電話神田四五七番 振替東京一五三九三番 ▼見本御入用の向は郵券二十錢御送附願上候

胃腸病にタラコン
普通胃腸の藥は只だ一時の消化を助くるか無理に胃液の分泌を促すか又は胃液を中和するだけですが此タラコンは弛緩だ胃腸の筋を引締めて其活動を順調にし胃液を整へ消化を十分にして吸收を好くし全統に健全な身體となります 胃膨加答兒、胃腸アトニー、胃擴張、胃痙攣、常習便秘、常習下痢、胃痛、胃潰瘍等苟くも胃腸病に苦む方は是非御試し被下タラの一種强烈なる刺戟は如何に頑固な長年の胃腸病でも靈驗卓効があります
◎散藥五十錢一圓一圓・前藥一圓一圓九十錢◎送料八錢海外卅錢
本舗 東京小石川下富坂町廿 無量壽藥園（電話小石川二九五六 振替東京二〇〇二）

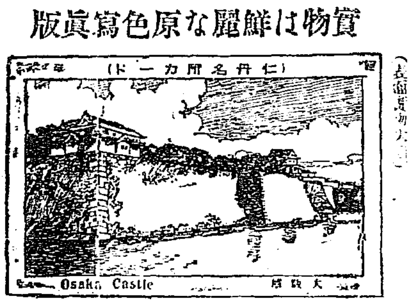
消化と毒けし 三輪 井上 両博士御方劑 仁丹 本舗 森下博藥房

見よタンクの威力を！ 活用せよ仁丹の卓効を！ 仁丹は斯界のタンクなり

タンクの說明

タンクは一名陸上軍艦と稱し歐洲戰爭が生みし最も優力なる攻擊用武器の一なり、英國のタンクには二種類あり一つは二門の六斤砲、ホッチキス速射砲、四門のリウイス砲を具へ、一つはリウイス砲六門を以て武裝せらる。共に[illegible]を有し士官一人と七人の兵卒により之を操縱し。車體の外殼は四分の一吋の特種の鋼鐵にて[illegible]せられライフル銃、機關銃、榴散彈の如きものに對し優に對抗し得らる而して[illegible]の動力によりて恰も全車體が一個の車輪の如き働きをなし[illegible]突破す……以上は英軍のタンクの概略にして佛軍使用[illegible]（[illegible]フィック アメリカン記載）

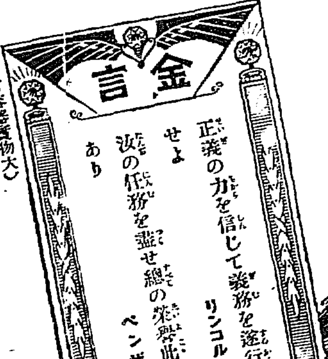
賞物は鮮麗な原色寫眞版



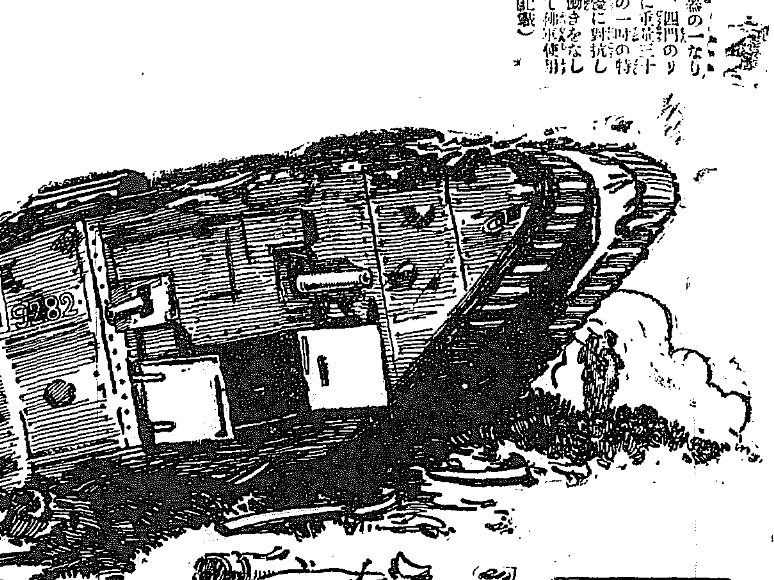
（長崎寫眞大）

高評嘖々たる 名所カード……は

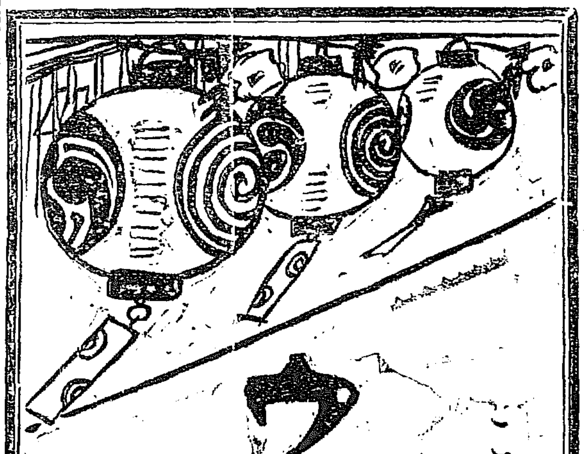
▲藥量十錢包の二倍半分ある德用二十錢包に『金言容器』と共に添付す
▲原色版刷にして全國の名所數百種を收む。
▲小アルバムに挿めば日本名所寫眞帖となる。
▲裏面に趣味ある說明を加へ絶好の教育資料。



（金言容器實物大）



英軍使用のタンク



これが全くの完成品 であると專門大家も實地愛用者も異口同音に賞讃される……

ウヅマキ石鹸

理想の洗身料として 初夏の御外出には申す迄もなく御家庭の常用には最も適當です

東京 横山町 天野磯五郎

汽車時間 第五

京釜線（南行）前 後 …… 京釜線（北行）前 後 …… 京義線（北行）前 後 …… 同（南行）前 後 …… 湖南線（南行）…… 同（北行）…… 平南線 …… 京仁線（仁川行）…… 京元線（北行）…… 同（南行）…… [illegible]

年中無休刊 大正七年六月十一日 THE KEIJO NIPPO 明治三十九年九月八日第三種郵便物認可 第三千八百五十號 (一)

京城日報
第五版
六月十一日朝刊
（朝夕刊を併せて八頁）

本紙定價 一ケ月金六十錢（前金）… 廣告料金 七字詰一行… 發行兼編輯印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話 編輯局… 振替口座京城三〇〇番

[illegible]を課しつゝあるが特に一年二百萬弗以上の收入ある富豪に對しては
▲ロックフエラー 所得六千萬弗納稅見當額 三千八百四十五萬弗
▲フリツク同一千百廿五萬弗同六百四十萬弗
▲カーネギー一千萬弗同六百四十萬弗
▲ベーカー同七百五十萬弗同四百八十萬弗
▲ウイリアムロツクフエラー同七百五十萬[illegible]

●紅茶產額激増

大正六年度の外國貿易表の示す處に據れば昨六年度に於ける本邦紅茶の[illegible]に於て百四十二萬六千八百有餘圓の激増[illegible]居れり尤も此內眞正の紅茶は[illegible]產を合し漸く數[illegible]數字を示し本年度の產額は更に又倍額なる十萬斤に及ぶ可しと[illegible]に觀測せらるゝの盛況を誣はるゝなりたる爲本邦への注文を勵致し[illegible]の市價を煽り昨年四十八圓內外なりしもの昨今にては六十圓唱へと[illegible]

戰後原料爭奪
日本へ影響如何

△英國の戰後策 英國が世界に於ける工業原料を左右し得る地位を利用して戰後經濟的競爭の武器とせんとする意あることは勿論なるが此方針は近時益々緊張し來りて漸次具體化せんとする兆を示せり最近に於ける同國戰後商業政策委員の報告の如き其好適例にして卽ち同委員會の報告の一節に於て羊毛、棉花、黄麻、棕梠等を戰後一定時期の間、引續き之を管理の下に置くの必要を切言し此等の原料は英國を始め聯合諸國の爲めに必需品たると共に獨墺の兩國亦戰前に在りては英國又は聯合諸國に供給を依賴し居たるものなれば英國は須らく此際聯合諸國と交涉して重要原料品の確保を努めざるべからずと論せり

△獨の原料政策 斯る主張は獨り該委員會の報告に現はれたるに止まらず從來とても各種の團體、經濟學者等の等しく唱ふる所なりしのみならず最近英國政府の原料管理方針が漸次半永久的傾向を帶び來れる點より見れば早晚何等かの形を以て具體化すべしと爲すと必ずしも杞憂に非ず之を最も憂慮するは元より獨墺の兩國なり試みに獨逸が開戰後原料に關し如何なる政策に出でたるかを見るに英國が戰爭に參加して數日の後卽ち千九百十四年八月八日獨逸陸軍省內に戰時原料部を設けたるも翌年五月迄は設備研究から個人所持の軍需原料に就きても之を軍用以外に用ふることを禁じ尙ほ其所有權を認め要するに軍用に原料を保有するを目的とせるに過ぎざりしが伊太利の參戰と共に諸般の輸入全然杜絕し且戰爭の永續すべき見込み確實となりしより茲に最惡の狀態を豫想して總ての準備を爲すの必要を認め千九百十五年以後は總ての物資の需給を調節し供給の增加、民間需要の節減を計れり

△獨墺兩國苦心 卽ち一面に於て增產を計ると共に木材より紙、絲を、亞麻より衣料を、空氣より硝酸加里を造る等廢物利用の途を拓き、一方陸軍省の原料部を擴張して之に各方面の生產工場を隷屬管理せしめ、別に分配局を設けて需要の緩急に從ひて供給を管理せしむる等要するに軍事上又は政治上の必要に依り講和を急ぐ場合は別として物資の缺乏に依り降服の止むなきに至るが如きことなきを期しつゝあり、然れども節約補給には自ら限りあり久しきに亙りて原料を維持し難きのみならず、假に講和を見る迄幸にして維持し得るとするも戰後最も活躍を要する諸工業の原料に至りては多くは之を海外に求めざるべからず之が爲めには假令の一部を原料にて受取るべしと說く者あり又殖民論者チンメルマンの如きは此機會に於て白佛兩コンゴーのみならずナイゼリア、カメルーンを併せて中阿に大植民地を獲得し原料を之に依賴すべしと說く等戰後原料の補給に如何に腐心し居れるかを窺ふに足る

△日本も心せよ 上來述べたる委員會の報告と共に注目すべきは英國藏相が五月中旬下院に於て最惠約款に關する一事條項を含む總ての通商條約を廢棄せんとする意嚮を洩らしたる一事なり其理由は戰後に於ける英國及び聯合國の必需品供給を確保せんとするに在り。戰後に於ける對敵原料政策を最も露骨に表白したるものにして其目標は獨墺兩國に在ること言を俟たず、聯合國の一員たる我國の如き深く憂ふるの要なきに似たりと雖も我國は一面に於て交戰國の一員として青島に、南洋に、又地中海に海陸の兵を動かしつゝありと雖も他面に於ては中立國同樣貿易上多大の利益を舉げ英佛伊白の如く專念軍事に盡しつゝあるものと同一を以て律し難し從つて戰後の共同的復興運動に就きても後者とは必要の程度を異にするを以て果して他の聯合國と同一の待遇を得べきや否やを疑はざるを得ず現に羊毛其他の分與交涉に就きても我國の受けたる待遇は必ずしも佛伊の諸國とは同じからず原料政策を以て獨墺兩國を苦しむる手段とのみ見難き所以にして其經過如何は邦人の深き注意を要するものなるべしと

獨逸の產業並に商權擴張策 (十)
植民政策 (十四)
賀田直治

戰後に於ける活動は正に注視を要するのみならず、和平國として極力防禦の必要あるものと信ず。卽ち獨逸は通商を以て世界を濶步するは勿論、和蘭の南洋植民地を從し、英、佛、西の植民地にも乘取策を講ずべく、殊にバルカン、小亞細亞、波斯の背後より、印度を擾亂するの計畫に出づべく、一方露西亞より、東漸して西伯利亞及び中亞に暴威を振はんとするの虞なしとせず。我が日本の如き自衛上並に東洋の平和保護上、今より大に警戒し且つ討議する所なかるべからず。殊に獨逸の心血を注ぎたる青島を占領する以上、種々の葛藤、競爭を覺悟せざるべからず。南洋卽ちマリアナ群島の將來も決して安心を許さず。現に兎に角に強敵を相手に折衝、競爭する覺悟を豫め必要とするものと信ず。要するに獨逸の植民的主義は、之を概括すれば

一、獨逸が世界を統一するは自國の聯邦を統一して、効果ありたるが如く正義なり。而して我は之が天命を受け、世界に溺たるの天民なりと自信すること
二、世界政策の手段の前には兵力獨探其他何等の手段をも辭せず
三、威壓を中心として組織的文明の經營を實行せんとす
四、自國の工業に依り商權擴張を强行すると共に飽く迄必要の地點獲得の目的を達すること

以上を總括し最も有力なる獨逸產業發展の眞因を擧揭すれば

第一 獨逸の勃興は徹頭徹尾難行苦行の結果なること
第二 獨逸の强固は國民の健康並に男女の協力より發す
第三 獨逸產業及び海外發展は內容の結果より發し其の長速なる所以は國內の旺盛なる生產過剩の結果に因る
第四 人口の生產過剩
學者の生產過剩
工業の生產過剩
科學の進步及び應用並に學俗の接近調和に因る卽ち之が根蒂は健全なる小學教育の普及より發す
第五 戰爭毎に產業の勃興を促がし同時に戰爭も亦科學の力に助けられて兵器、運輸其他のあらゆる威力を生じ一方所謂獨逸魂的精神上の一致に依り强大不拔の勢威を生じ且つ戰勝の槿を直接に產業に影響せしむるに努めたること
第六 國勢に依り從來海外に分布せる獨逸移民に對し獨逸魂の發揮及び一致合同の風を造らしめたること
第七 世界政策の援助に依る商權の擴張と戰爭との如何に拘らず人民の自主的經濟發展力を有すること

並行線 五
瀧閑村

『何？電報』『ぢら』
封を切つて宣太郎は門の電燈の灯に翳した。
（チチキトクスグカヘレ）
發信局は靜岡とある、宣太郎はハツトして醉が一時に醒めてしまつた。
『何うしたか、君』と高山は心配さうに顏をさし寄せた。
『父が危篤だと云つて來た、あゝ折が惡い』
『そりや大變だ、ぢや直ぐ仕度して歸省し給へ』
『どうも仕方が無い』
宣太郎は引返して、社長の家へ電報を齎き、高山に分れて宿へ歸つた、そして直ぐ歸省する旨を返電して、床の中へ入つた。
身體も腦も、極度に疲勞れ切つて居ながら、昂奮してどうしても眠りをなさぬ、眼がチカ〳〵痛む。折角こゝ迄漕付けた會社の火災に對する遺憾さ、再興を捨てゝ歸らねばならぬ恨みとが腦の中に渦を卷いた。そして富と戀とを併せて得べき機會を失ふことの怖れは是を抱包んで[illegible]を揚げた。事業の上には親しき友の高山も、戀の上には仇敵に等しかつた、その高山を一人茲に殘して歸省するに堪へられなかつた。そして今度歸省したら再び朝鮮に來られぬやうな豫感が犇々と宣太郎を襲うた、火災前の會社の建築が見えたり、靜岡の侘しい親の住居が見えたりした。白く浮出した靜子の顏は忽ち病み勞れた父の顏になつたりした。半生の功名と富と戀とが線香花火の如く是で消ゆるかと思ふと、宣太郎は歸省したくなかつた、併し自分を待つてゐる病父の事を思ふと、何事でも抛たねばならぬとも考へられた。
思ひ惱み、思ひ煩ひ、そして思ひ疲れて宣太郎はいつか苦しい眠に落ちた。

翌朝宣太郎は蒼い顏をして山本社長を訪ねて暫くの暇を請うた。山本社長は困つたやうな顏をしてゐたが、思返して
『それはお氣の毒だ、歸つてよく看護して上げるがいゝ、會社の方も知つての始末で、今君に行かれると甚だ困るけれど、そんな事を云つてゐる場合ぢや無いから……それに猶君には話したい事もあるが、それも復歸つてからにしよう失禮だが……』と幾枚かの紙幣を紙に包んで
『旅費にして呉れ給へ、又入用の際は遠慮なくさう云つて寄越せばお送りしようから』
『有難う御座います。私も成るべく早く此方へ引返すつもりです』
『さうして下さい、で出發は？』
『今夜の七時五十分ので立ちたいと思ひます』と答へて別れた。
夜の列車は中々込んでゐた。山本社長を始め十二三人の見送りを受けて宣太郎は乘込んだ。
『是はつまらないのですが……』と靜子は果物の籠を出した。
『有難う』受けた宣太郎はまだ言ひ度い事があつたが、見送の人々の手前何も言はなかつた。やがて別れる時が來て、列車は南大門驛を發して闇を走つた。暫くして宣太郎は籠の傍に白い紙包のあるのを發見して開いて見ると中に一箇の指環があつた。添へた紙片に
指より指へ、忘れなとこそ　靜子
宣太郎はキツスをしてそれを小指に嵌めた。

汽車過關原　白鷗　藤岡甚三郎
問古戰場安在哉。勝巫山色碧崔嵬。彼蒼忘外風吹雨。鬪做千兵萬里來。

次竹窓翁寄示詩韻　香雪　四熊泰治
日日仙翁釣碧灘。長竿欲拂大江瀾。依然姿躁不知老。恐是子陵灘下人。

賀蒼雲書院開塾似入　池田恒
休道古賢蹤已諫。老松修竹碧芽虛。山中秀氣依然在。未必化人由諱書。

送蒼堂先生謁山阜孔廟　耕雨　津田長三郎
眼看百戰華山川。仁義千秋何處傳。孔聖丸泉當首昔。東瀛儒士拜祠前。

牡丹臺懷古　鷺南　中村眞德
摧鬼一鄕接發兵。猶憶當年兵馬蹤。風雨多年枯骨盡。荒臺唯有草蕭封。

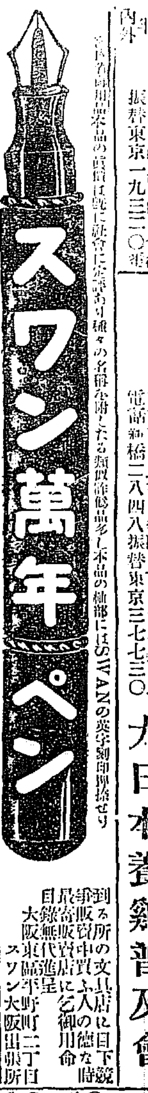
偶成　牛栞　川上半四郎
情性由來豈得同。魚游海底鳥飛空。人間莫問是非事。惟有天心自至公。

公告
光州松汀里間用水路構造物工事
此入札保證金各自入札金額百分ノ五以上（可成切上）
右工事請負希望者ハ當廳ニ就キ入札設計書圖面及請負人心得書契約書案仕樣書等ヲ熟覽ノ上六月二十四日午前十時迄當廳會計係ニ於テ入札スヘシ卽時開札ス
此契約ハ朝鮮總督府全羅南道技手宮本又七之レヲ擔任ス
大正七年六月九日
全羅南道長官

株金領收證紛失公告
一 當社第壹回拂込株金領收證壹枚
金壹千貳百五拾圓也
分朝鮮銀行東京支店取扱
番號第拾五號新井山三郎殿名義
右紛失ニ付來七月拾壹日迄當社ヘ屆出ナキ時ハ無効トス
大正七年六月拾日
京城府永樂町二丁目七番地
朝鮮紡織株式會社

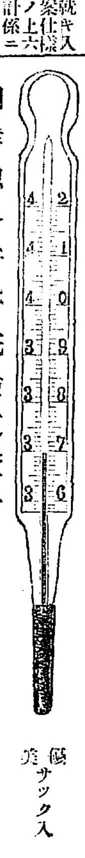
朝鮮總督府遞信局
競爭入札 購買
一、電信編組ゴム線外四點
詳細六月十一日ノ本府官報ニ在リ

南部鐵瓶
二圓
カタログ進呈
岩手縣盛岡市馬町一三六 [illegible]
振替東京一九三二〇番



[illegible]類似品多し本品の軸部にはSWANの英字刻印押捺せり
到る所の文具店に目下競爭販賣中買ふ人の德な時
最寄販賣店に乞御用命
目錄無代進呈
大阪東區平野町二丁目
スワン大阪出張所

大日本養鷄普及會編纂
本邦創始 養鷄講義錄
三ケ月卒業
會費金貳圓五拾錢
會則說明書御申越次第無代進呈仕候
相當智識を具備すれば一婦の力も
（育雛）……一日四時間の勞……四坪の空地……年純益貳百圓……資金僅貳拾圓
（產卵）……一日四時間の勞……四坪の空地……年純益百卅圓……資金僅拾五圓
元來養鷄業は需要に限りなく生產の三要素たる土地資本勞力に大小の制限なく斯業に對する相當智識を具備すれば一羽五圓以上の純益は確實也本講義錄は斯道の專門大家拾三氏の筆になり其奧秘と秘訣を詳述せる物なり入會者は永久會員として質問應答の便を與へ且つ直接指導して豫期の收利を獲得せしむ
東京市日比谷有樂町一丁目二番地 電話新橋二八四八 振替東京三七七三〇
大日本養鷄普及會

◎發熱と檢溫器＝家庭必備◎
△代表的模範檢溫器▽

優美サック入
朝鮮總督府醫院檢定證附 定價特製壹圓四十錢 郵稅十二錢
本品は時代の要求に喚醒せられ多年苦辛考究の結果製作したる良品にして彼の精巧無比と誇れる獨逸製を凌駕し示度の正確さ技術の優秀なるは本邦幾多製品中の模範的逸品たるを證す加之價亦廉也乞ふ眞僞は現品に徵せられたし
商標 PINE
パイン檢溫器發賣元 京城太平通 電話長三六〇 振替京城三〇〇 京城日報代理部

資本金五百萬圓
京都市岡崎町 電話 特長上七四番 上一三六〇番 上三〇一七番 上一一〇八番
株式會社 奥村電機商會
出張所 東京…大阪…神戶…金澤…福岡…富山…福井
弊社本年一月組織變更以來專ラ工場管理ノ方法ト事務ノ簡捷ヲ圖ラン爲メ種々講究罷在候處旣ニ是等ノ配備整頓ヲ告ゲ候ニ付自今主トシテ技術的方面ノ改良進步ニ鋭意努力可致候就テハ此際多數ノ技術者ヲ增員致シ製作上遺憾ナキヲ期シ可申加フルニ工場ノ增築モ近ク實現シ生產能率ヲ激增セシメ多年崇御眷顧候各位ノ御高恩ニ酬ヒ申度候何卒倍舊御引立ノ程奉希候
營業科目
發電機、變壓器、電動機
配電盤、電氣計器、電車
發電用水車、電動喞筒
捲揚機、起重機、水壓鐵管
鐵製煙突、製氷及冷藏機械
鐵橋、昇降機其他諸機械
製造販賣
社長 奥村猛
副社長 阪本仙次
相談役 奥村寅次郎
工業部長工學博士 小倉公平
工場長工學博士 堀覺太郎
技師長工學士 八巻彌一

最新刊
◎今古支那書畫名家詳傳 一、二八〇
內地爲替實務誌 一、三〇
會計法釋義 一、三〇
各國流行玩具圖解製造法 一、二〇
◎お夏清十郎 定價六十五錢
縮刷 滿 一、八〇
大 恩 良 寬 二、三〇
我が子の金錢教育 九〇
◎朝顏栽培秘訣 定價七十五錢
オイケンの哲學 一、〇〇
人生哲學茶話 一、三〇
乳兒の育て方 一、五〇

京城本町 大阪屋號 電話…
（本店）東京（同店）大連、旅順、鐵嶺、釜山

京日案內
普通 一回前金五十錢 番外壹 一回前金[illegible]
▲申込後中途掲載中止の節は料金不返戾
▲六回以上の御申込は特に割引のこと
▲御照會は返信附にあらざれば回答せず
▲御照會は必ず數字の番號御記入の事

◎看護婦及見習看護婦入用 南大門通（東銀裏）同生堂醫院
◎看護婦又は經驗ある見習生至急入用 本人來談あれ 明治町一ノ九 贊化病院 193
◎御便利に御談御入用 御用貸金なしくづし不動產貸付 御件の方は御一報次第伺候 京城御成町六六 今永 179
◎店員入用 十四五歳より廿四五歳迄の者履歷書携帶來談要保證人 京城本町二 ちゝぶや 181
京城名物肴は生々酒は白鶴夏向の御一酌は旭町一丁目出雲屋に限る 鰻まむし本店 電話二八一五番 110
▼融通 月收の御方へ極秘迅速簡易 立替御相談に七候 京城大和町三ノ三三（桝澤前）池木屋 167
◎客人下宿を望む 御通知下されたし 左記へ 電話一五一番 184
◎繭に相當經驗ある者七八名入用 京城南大門通り三丁目 福井商店 蠶絲部 192
事務員急採用 年齡廿五歳以下簿記に堪能の者 京城三坂通 電話九〇五 齋藤製糸社 191
見習看護婦及看護婦三名至急入用 南大門通り（電話二四六・二一番）二丁目七番地 若槻醫院 190
會社向き事務所讓度し （姓名在社） 189
恩給 年金 長期低利立替短期ハ 但保險ヲ要セズ 京城恩給ニ對テハ此際四年分迄 日之出町十一 學校裏門前 吉田屋 111
◎勸業債券特價買入 多少に不拘 債券擔保にて低利貸付致す 京城太平通一ノ一三 電二七九三番 朝鮮產業社 169
恩給年金長期低利立替 引切一切 公債債券現物買 擔保貸付 京城若草町一百六 電話三〇一一番 西村商會 186

波蘭國建設宣言
英、佛、伊三國首相の同意

英國政府は六月三日のヴェルサイユ會議に於て英、佛、伊三國首相は左の宣言に同意せる旨六月六日を以て發表せり（倫敦電報）

一、海上への自由なる出口を有する統一的且つ獨立的の波蘭國を建設する事は鞏固にして正當なる平和と歐羅巴に於ける正義の支配に必要なる條件の一たる事

二、聯合諸國政府は米國政府國務長官の聲明を欣然諒知しチェック、スラヴアック及びユーゴー、スラブ民族の國民を沿き自由の擁護に向て米國と共に深甚なる同情を表示せんと欲するものなる事

獨政黨と講和提議

佛紙エコ、ド、パリー曰く獨逸席清黨の大部分は講和を提議するを可なりとするに一致せり獨逸進辛和ヘルトリング氏も近く帝國議會にて講和提議に關する演說を試む可し（巴里電報）

敵機十一を射落す
猛烈なる伊太利他兵の活動

伊太利公報に依れば全前線に於いて砲兵は猛烈なる活動を開始しバルラサ及びツエンソンより海岸に至る地點に於て殊に甚だしマシマゴ南方に於て英軍の一隊は敵線を突破したるが多數の負傷者を出し俘虜若干を獲たりピアヴェ河の下流に於て砲擊繼續され其左岸に於て敵の襲擊は擊退せられたり、空中戰亦熾んにして我軍飛行機は敵の航空根據地に五噸の爆藥を投下し敵の五機は空中戰鬪の爲に又其六機は攻空砲の爲に射落されたり（羅馬電報）

二市に革命本部組織

ニコリスクにて勞兵會執行委員大會開催され同市に戰時革命本部組織されたり（哈爾賓電報）

多額納稅議員選擧結果

十日貴族院多額納稅議員選擧の結果左の如き當選者を見たり（東京特電）

▲山形多瀨[illegible]次郎▲三重伊藤傳七▲山[illegible]總五郎▲神奈川大谷嘉兵衛▲山口藤本閑作▲香川鎌田勝太郎▲愛媛岡本榮吉▲福島佐藤傳兵衛▲石川橫山章▲宮城八木久兵衛▲德島三木與吉郎▲鳥取西谷傳四郎▲滋賀西川甚五郎▲靜岡中村圓一郎▲宮崎直橋源治郎▲京都大村彥太郎▲大阪島定次郎▲佐賀伊丹彌太郎▲奈良山田純輔▲福岡淺尾多吉▲鹿兒島中山嘉兵衛▲大分成淸博愛▲埼玉田中源太郎▲岡山星島謹一郎▲巖手橫山久太郎▲靑森安田才助▲廣島二階堂六郎左衛門▲千葉石橋謹二▲山梨大森慶次郎▲島根高橋隆一▲和歌山津村紀陵▲德島三木與吉郎▲熊本富永猿雄▲北海道相馬哲平▲長崎橋本辰二郎

東宮殿下
大島行啓

皇太子殿下には十日午前八時四十分御所御出門大島行啓の途に上らせられたり、殿下には海軍大尉の御軍服に大勳位菊花副章を佩ばせ給ひ入江侍從長御陪乘供奉諸員を隨へさせられ折柄の雨中を品川驛に御著八時五十五分同驛發特別列車にて諸員最敬禮裡に御機嫌麗しく御發車沿道臣民奉迎裡に九時四十分橫須賀驛に御著小蒸汽にて御召艦生駒に御乘艦あり十時四十五分生駒は驅逐艦二隻に前後を警衛せしめ徐ろに拔錨西南に向へば十一時追濱より海軍飛行機御乘艦目覺けて廻翔し來り低空飛行を爲し奉送申上げたり（東京特電）

米國造船能力
▼本年中に三百萬噸

[illegible]に難からず元來米國は海運國なりしも中道にして諸種の事情より著るしく衰微し居たるが歐洲戰爭の[illegible]したるが米國に於ける斯界の權威たるニューポート、ニューズ造船會[illegible]三十六箇所は政府の依賴により船舶建造の[illegible]を引受け他の造船所も亦之に應せん計畫なりしが（二）に本年多期の極寒なりし爲めハーレー氏所期の如く六百萬噸の船舶を建造すること不可能なるべき[illegible]

吉敷視察團動靜

山口縣吉敷郡小學校長視察團二十八名は九日夜來奉各地視察の上十一日朝大連へ向ふ可し（奉天特電）

露貨暴落原因
米國筋の買入中止

露貨は五月上旬に於て金百圓對三百二三十留に引返しゐたるも其後

▲漸落一方 にて最近五百四五十留に暴落したるがその原因に付某銀行家の談を聞くに（一）露國財界の混雜今日の如く紙幣の增發三百億說を聞く時百圓對三百留臺に立直りたるは平調ならず最近又々下落一方なるはその反動とも見得べし（二）露貨の七八百留に激落するや米國筋の買進み巨額に上りたり之れ亦露貨の春來騰貴せし一因なりき然るに近來米國政府にて公然露貨移入を禁止せし譯ならざるも國家多事の際露貨の如き

▲不生產品 を輸入する事は不利なりとし暗默の間に禁止的方針を把持しつゝあり結局米國の買ひ進み中絕の姿となれりコレ最近の露貨暴落の主因ならん要するに今後の留相場は米國の買付再開を見ざる限りその引返しは至難なるべしとの觀測有力なり尙ほ朝鮮の留所持者は今春まで少なからざりしも四月より五月の高値時代に

▲概ね放賣 し盡したる模樣に付今次の暴落により直接影響を受けし者は多からざるべし

巖手縣補缺選擧結果

巖手縣衆議院議員補缺選擧の結果佐藤喜八氏一萬四百六十七票にて當選せり因に次點者は及川幸氏五千七百五十六票なり（東京特電）

阪谷男著奉期

阪谷男一行は十一日北京發十二日著奉の豫定なり（奉天特電）

大倉男動靜

大倉男一行は十一日午前十時半安東發列車にて來滿の筈なるが其用件は不明なるも公司株主總會に臨み向後の事業計畫を決定し更に南支方面の或計畫遂行方交涉の爲め北京に向ふ筈尙公司林理事は出迎の爲め安東に向へり（奉天特電）

鮮米需要激增

內地米暴騰と共に品質惡く却つて鮮米の品質良好にして二圓方安き爲め大阪市內の需要は多く鮮米に向ひ昨今一日の賣行高四斗入七千叺に達し尙續々增加の趨勢なるを

大阪財界便り

▲事業合同頻々 事業合同の趨勢は益々盛んにして小事業分立の弊は漸次に改良に向はんとするは最も歡迎すべき傾向なりとして最近重なる合併交涉は大日本帝國兩麥酒會社の合併交涉にして帝國は資本二百萬圓全部拂込債務六十萬圓なり近く三百萬圓に增資せんとする折柄合併談起りし事とて合併條件は容易に一致せざるも再三交涉の上妥當の條件を發見するに至るべく日本毛織と日本毛絲紡績兩社の合併は愈々交涉纏まり來り廿九日兩社別々に合併總會を開き兩社合併總會は來八月廿日開催の筈名古屋製紙の愛知製紙買收談は此程成立を告げ近日合併總會を開く筈又金澤附近金福輕鐵と富山縣石動町の礪波輕鐵との合併談は株主中に反對者あるも結局合併の解決を見るに至るべく下關なる百十銀行は山口縣小郡銀行を買收の協定成立し來る十五日總會を開く筈此事業合同の趨勢は臺灣方面にも波及し臺中廳內に於ける短距離の小輕鐵會社は皆一致に合併に贊成し社名を臺中輕鐵會社資本を百萬圓とし內四十萬圓を拂込みて線路聯絡統一を圖るべしと

▲兩紡績紛紜 松山紡績は過般倉敷紡績と合併し既に合併總會を了したるが松山紡績株主中の合併反對者は飽迄反對運動を執り合併總會の決議を無効となし其缺點を擧げて淺田專務を被告として目下訴訟提起中なるが既に多數株主は合併の有利なるを認め多數決に依りて合併通過したるものなれば決議中多少の手落ありと雖も合併の本旨に影響を及ぼす筈なきを以て合併側は寧ろ樂觀し居れりと

▲豆粕相場漸落 硫安及び硝石は在荷薄と搗て加へて稻肥の需要旺盛期とて昨今氣丈の成行を呈し居れるが豆粕相場は產地の漸弱と鈴木商店並に日井商店の買占めは大體在荷豐富の際とて何時右兩店買占めの現物突き付けらるゝやも保し難き狀態にある丈けに新規に買進む思惑者皆無なる一面去る二三日の兩日に十七萬枚の入荷は一層買氣を殺ぎ相場は漸落の步調にて近物兩圓八九十錢內外の相場を呈し居れり目先稻肥の向き需要期にて無理の下向きは之なからんも前記兩店買占めの早晚手持現物を渡さゞるべからざる立場にあるとは前途に於て豆粕相場の或程度迄の暴落は免るゝこと能はざるものゝ如し

▲支那紡績整理 支那紡績業に於ても整理の必要起りしものゝ如く既に鴻源紡績公司は百五十萬兩にて河崎助太郎氏に賣渡したるを始め最近天津和記と北京彰兼兩紡績公司の合併成立し新會社を彰和紡績有限公司と命名し既に合併を了し其他二三紡績業間にも合併或は買收の談あり本邦紡績業者は此方面に注目中なりと（大阪支局）

開け行く間島
鮮人移住者激增

間島領事鈴木要太郎氏は七日午後下關著直に上京せるがその談に曰く余の今回の上京は事務打合せの爲めにして何等特殊の用件あるにあらず間島は淸津會寧間の鐵道開通後急速の發展を來し鐵道敷設前に於ては輸出穀物一箇年三四千萬石なりしに鐵道開通後は激增して一箇年百二十萬乃至百三十萬石の輸出を見るに至りたり同地は地味豐沃農業に最も適するを以て朝鮮人の移住するもの多く現在朝鮮人二十萬人支那人六萬人日本人七萬人在住し居れるが朝鮮人は尙續々移住しつゝあり近き將來に於て五六十萬人位に達すべし移住の鮮人は水田の開作を主とし尙ほ大規模の事業を經營するもの少からず間島にて最も有望なるは日支合辦の天寶山銀鑛にて近時採掘に着手したれば將來有望なるものあるべし間島の排日は一時其兆ありしも協約の眞相了解と共に昨今全く鎭まり今後吉會鐵道敷設の曉は非常の速度を以て益々發達すべきを信ず（門司）

斷乎たる決心を要す
北滿樂觀を許さず——齋藤少將談

北京公使館附武官齋藤少將は十日朝京奉線にて北京に向け出發したるが其の談に曰く「目下北滿國境地方は過激派と反過激派セミヨノフ軍と對峙し居れるもセミヨノフ軍振はず加ふるに八日以來オノン河の鐵橋破壞されたれば西伯利との交通全く杜絕し居り且つ又滿洲里方面も過激派の手に歸し居れば北滿は恰も甕の中にある如き狀態にて形勢樂觀を許さゞるものあり此際斷乎たる決心を要す世人は支那南北抗爭問題の如き眼前の問題にのみ注意して北滿及西伯利方面の大事を閑却し居れるかの如き觀あるは遺憾なり西伯利の問題は支那南北問題の如く單に支那一國內の問題に非ず日支兩國百年の大計の爲實に重大なる問題なり然るに日本に於ける輿論は徒に眼前の小問題にのみ眩惑され西伯利問題の如き大局を達觀する者無きは惜む可し先年余の間島にありし時も世人は間島の如き猫額大の地を何うするものぞと稱し今日十年後の狀態に想到する者尠かりしが世間の輿論なるものには往々斯の如き例あり今日の西伯利問題に就きても大に注意を要す 獨今回の日支新協約は論で字の如く獨逸勢力の東漸を防ぐ爲に結ばれたるものにて是が爲支那の當局の或るものも排日等の嫌疑を免かれたり而して此大目的に向つて步調を一にせば事を爲す上に於ても頗る便利なる可く延いて經濟上にも好影響を齎す可し又徐樹錚氏は九日來奉會見せるが氏は目下西南軍の中堅たるかの觀あり且つ頗る精力家なり世間或は氏を目して陰謀家の如く稱ふるものあるも支那の如き國にありては活動家は皆陰謀家と見做さるゝやも知れず」（奉天特電）

鮮銀本店帳尻

朝鮮銀行本店に於ける五月末日現在の預金貸出し帳尻を聞くに左の如し

▲預金減 預金は三千二百二十一口二千三百六十二萬七千圓にして之れを前月に比すれば口數に於て百二十五口を增せるも金額は百六十六萬六千圓を減じ居れり

▲貸出增 貸出は八百二十九口一千二百九十二萬一千圓にして前月末に比し六十六口五萬七千圓を增加せり尙ほ右の中同業者に對する貸出は三百二十六萬七千圓なりと

慶北生繭相場

慶北尙州郡共同販賣所に於ける生繭相場總督府農務課報告左の如し

▲八日出來値（交雜種一）特等十二圓五十錢一等九圓六十錢二等九圓四十錢三等九圓十八錢四等七圓四十錢等外六圓四十八錢 ▲九日出來値（交雜種）特等十二圓六錢一等九圓七十錢二等九圓五錢三等八圓六十三錢四等七圓十二錢等外六圓二十錢

慶北掃立と收繭

慶北道內各府郡島に於ける本年飼育者數は六萬五千五百八十二枚にして前年の掃立數に比し約一割弱の增加を見たれども尙ほ右の中二萬一千枚は交配種を含むが故に種類一枚に對する收繭率は前年に比し二割の增加を示し收繭豫想高一萬九千二百廿九石にして前年に比し二千餘石の增收なりとす卽ち前年にありては種類一枚に對して二斗六升強なりしも本年は二斗九升三合強の收繭豫想なりと

藤谷中佐發期

江原道警務部長より廣島憲兵隊長に榮轉せる藤谷淺吉中佐は十四日前任地出發途中京城二泊の上赴任の筈なり

吉田分隊長赴任期

京畿道警務部副官より慶南泗川分隊長に榮轉したる憲兵大尉吉田幸三郎氏は十三日京城出發赴任すべし

看護婦試驗日割變更

京畿道にて十一日十三日に亙り施行の筈なりし產婆及び看護婦試驗は十一日十二日十三日の三日間に亙り施行することゝなれり

□東京より　大塊

明石新總督にも、未だ面會不致候。新綠や世に成功の人の如。則ち物我同體の達磨の宗徒は。庭の新綠を見て、明石總督を見る如くに御座候、呵々。

人事消息

▲片山登氏（海軍少佐）十日夜入京南大門旅館へ ▲松井文太郎氏（福井縣選出代議士）十日夜奉天より入京南大門旅館へ

百聞百種

天氣豫報と八卦は當つたり當らなかつたり當るも天氣豫報當らぬも天氣豫報と相場が決つて居るが之は高層氣象觀測所の無い爲で支那でさへやつてるに日本に無いとは恥しい話だと云ふので二三年前故人となつた渡邊千秋伯の建議で前年十萬圓の豫算が議會を通過して居るが實施は延びのびになつてる▲日本全國に十箇所も高層觀測所があればメッタに豫報の外れる事は無いと云ふから朝鮮の樣に大陸の高氣壓源地を控へた所には篤志家の寄附で率先して建て度いものだ誰か斯樣な有志は無いものか▲或學者の研究に依ると人間一人から採り得る脂肪の量は日本人は平均體量十五貫として二貫五百匁位、西洋人は二十貫として三貫目も採れる▲獨逸が其戰死者三百萬人から採り得る脂肪は三百萬貫であるから之れ丈けの脂肪から更にグリセリンを製すると約二十四萬貫を得る事が出來▲更らに之れを原料とすると百萬貫近くの無煙火藥が製造さるゝ譯だ然も獨逸ではグリセリンを絞つた糟から更に脂肪酸や石鹼蠟燭を拵へる▲こんな貴重な人間の屍體を火葬場で煙にするのは勿體ない樣な氣がする虎でさへ死して皮を殘すと云ふから人間死してグリセリンを殘し無煙火藥を殘す位の事をしなければ虎に對しても面目ない次第▲之れから先き死ぬ者は遺言に自分の屍體を脂肪原料に提供する位の遺德を貽すがよい▲高い米を食つて碌な事もせずに一生を過ごした者も多少の埋合せにはならうから……とは某經世家の話

於ける新設工業會社は社數二百八十四資本一千六百七十五萬八千二百二十圓に上り之を前月に對照[illegible]十圓に達し之を前年同期に對比すれば社數百四十五、資本六百十萬三千二百九十六圓の減少を現はせ[illegible]

一月以降四月迄累計鑛業試掘件數は一萬七百三十二件にして昨年同期の五千九百六十七件に比し實に[illegible]なるが右合計の各鑛種別比較を[illegible]

▼輸入防遏　好評獨步の

▼優秀なる　兩切新煙

スピヤー　十本入　金六錢

東亞煙草株式會社朝鮮總支店

最新刊

文學博士　三宅雪嶺先生　新著

小紙庫

自序に曰く

永平寺の和尙は庭前の石を指して曰ふ吾は金なくして石ありと、著者は庭の代りに壁に面して曰ふ、吾は金庫なくして紙庫ありと。本書は紙庫の小なる者、內に何等かの思想を藏す……

小紙庫一卷、收むる所は銅臭に非ず金色に非ず、實に新興日本の最高思想也。現代を超越して而も現代を離れず、有らゆる問題に觸れて止まざるもの、其觸るゝ所必ずや靈光の閃を見ずんば止まず唯だ獨り偉大なる先生の筆あるのみ。本書は大正以降に於ける先生最も會心の文字を網羅せるもの最近に於ける先生の全思想は收めて實に此一卷に在り。苟も世界的思想の高潮に觸れんとするものは金庫を棄てゝ此の紙庫を購はざる可らず

新式九ポイント活字 中形帙入美裝至便 總クロース天金特製 裝幀美術四百五十頁

價壹圓五拾錢（郵料金八錢）

發兌　東京麴町平河町一丁目　耕文堂　振替東京三四六六七番
發賣　京城本町　振替二五七三番　大阪屋號　巖松堂

稻麥扱

東京本所長崎町　大日本[illegible]

實用新案　最新式裝置　完全無比　麥扱界之王　說明書進呈　其他製繩機　製莚機　器械農具　定價表　特約店募集　發明獎勵

▲外務社員募集

住居地にても爲し得る業務月收多大　且特別優遇法有希望者は最近迄に履歷書封入本社外務部へ申込まれ度　東京市丸の內有樂町一丁目四番地

大日本勸業株式會社

謹告

謹啓弊所從來渡邊文治氏拙者ト協同經營在罷候處今回同氏死去セラレタルニ付六月一日ヨリ拙者個人ニテ經營一層奮勵可仕候間何卒倍舊ノ御引立ノ程偏ヘニ願上度此段謹告候也
追テ左ノ物品ハ格別廉價ヲ以テ販賣可致候

一、胡麻油　一、菜種油　一、大豆油　一、ボイル油　一、機械油　一、[illegible]油
一、荏子油　一、菜種白絞油　一、大豆白絞油　一、[illegible]　並ニ　柏油粕

京城府南米倉町　京城製油所　安達熊太郎　電話長[illegible]

…を還送し今日以後と雖も我が…並びに器械品を輸送すべきを以て米國船舶の不足を感ずるは察するに…長ハーレー氏就任以來今年中に六百萬噸の船舶を竣工すべしと傲言…き調査に從へば米國に於ける造船所の總數六十一箇所にして右の中…應ずるあり且急激なる擴張に伴ふ新職工の未熟なる點もあり（三）特…

◉名物のマラリヤは 近來殆んど其跡を絶つた

『臺灣坊主』は臺灣に尠く内地の方が本家本元

臺灣研究所長醫學博士 高木友枝氏談

臺灣研究所長醫學博士高木友枝博士は朝鮮醫學會總會に列席した後各地に於ける衛生施設を視察し八日夜南大門驛發の列車で歸臺の途に就きたるが博士は出發前往訪の記者に語る

回臺灣研究所 は殖産及び衛生上の研究調査試驗に從事し兼ねて血清その他細菌學的豫防治療品の製造に從事する爲め設置せられたもので化學部、釀造學部、衛生學部、動物學部、庶務部の五部に分れてゐる、手つ取り早く云へば先づ當地の中央試驗所に衛生學部を置いたやうなもので中央試驗所内の工業傳習所に比すべき

回工業講習所 もある、吾輩は曾て細菌學を專攻したこともあるが斯麼譯で今では八百屋の親分に宗旨替をしたので『細菌學者で御座い……』では既う同僚が承知しないやうになつた、以前マラリヤは臺灣名物とまで言はれ年々之が爲めに斃れるものが尠くなかつたが最近其豫防上の

回根本方針が 確立して以來殆んどその跡を絶ち現今では纔く少數の患者を見るに過ぎぬ、一體マラリヤはアノフエルスと云ふ蚊によつて媒介せらるゝ病氣であるから之を豫防するには先づこのアノフエルスを撲滅することが必要である

回撲滅方法は 種々あるが最も簡單で勝負が早いのはその幼虫が棲息する水溜りに石油を流すことである、臺灣では此方法によつて媒介者の撲滅に努めてゐる一方流行地の住民について血液檢査を斷行し保菌者があれば直ちに適當な手當を加へることにしてゐるが之は却々好い結果を見せてゐる以前は

回血液檢査を すると百人中十五人位の保菌者を出したものだが斯うして毎年々々血液檢査を繰返してゐる中に保菌者の率が段々低下して來るやうになり近來は之が非常に減少して來た、茲兩三年の中には百人中一人と云ふ所まで漕ぎ付ける豫定であるが斯うなれば最う占めたもので先づ

回流行の虞れ はないと云つても好い、マラリヤに次いで多かつたのはペストであるが之も亦近來非常なる減少を示しこの頃多いのは朝鮮でも大分問題になつて居る腸チブストマである、禿頭病は『臺灣坊主』とさへ稱へられ如何にも臺灣が本家本元のやうであるが豈圖らんや、其實之は内地の方が本家本元で臺灣には極く罕にしかないのだから不思議である

◉朝鮮では何うする、今に内地と同樣に取締るだらう

債券月賦販賣に對する當局者の意見

東京警視廳にて營業を禁止されたる東京市内の債券月賦販賣業者が朝鮮に設置せる支部支店代理店等の如きものゝ今後に於ける狀況及び處分等に就き朝鮮當局者の談に依れば元來債券の月賦販賣營業者中には夙に射倖其の他良からぬ手段にて購買を强ふるものあり其の弊害は豫てより官憲に於ても認むる所なるが其の本店本社なるもの管轄外なる内地にある爲め之れを朝鮮のみにて營業を禁止するは少しく穩當を缺くの嫌ひあるを以て今日迄其の儘經過して居る次第なるが恐らくは朝鮮にても早晩内地同樣の處分となるべし、然して内地に於て本店が禁止されたる理由が未だ判明せざるを以つて朝鮮の支店を今俄かに處斷すべき譯には至らずと

▼人の褌で相撲を取る樣な

販賣者の内幕

右に就いて朝鮮に於ける一部營業者の内幕及び其の手段方法等にて一二の例を記さんに、是等營業者の中には或は現物を交付せず

▽販買の際 は其の債券の番號のみを通知し置き扱て受入れたる代金を以て他より有合せの債券を購入して之れを交付するか或は月賦金を全部拂ひ込みたる末に交付するなりと稱して遂に交付せざるものあり、而かも其の間に彼等營業者は毎月受け入れたる代金を

▽他の事業 に流用するものもあり、斯くの如く面倒なる爲め途中解約する者あれば今迄に拂ひ込みたる金員は悉く沒收の形となりて返金せざる仕組みのものもあり、或は拂込金額の幾部を返して事後承諾をさせる方法のものあり、殊に地方に出張する所謂勸誘員と稱する者の中には勸業銀行が發行したる勸業債券なるより此の債券を購買せざるものは

▽國家事業 に反對するものなりなど、出鱈目を並べて世事に暗き朝鮮人を無理押しにして購買を强請する者すらありといふ、而して京城にても先頃官憲の手に檢擧されたる販賣業者の如きは全く無資本にて遣繰算段にて其の場を糊塗しゐたること判明して遂に廢業したるもの二三ありたり

講所 紳士の體操に就いて（九）

―簡單容易な强健運動―

◇淑女にも應用す可し◇

九州帝國大學醫科大學教授 醫學博士 櫻井恒次郎

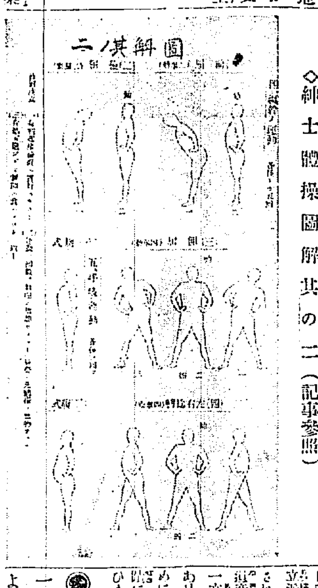
四、軀幹の運動

◇此中で前屈及び後屈は、共に二聯動、側屈及び捻轉は四聯動、圓旋は八聯動であるし、總べて努力の比較的多い運動であるし、且つ下肢の安定を必要とするから、脚は前の運動と同じく左右に開きて、下腿を稍屈曲な大ならしむ、下腿を曲げ、下肢は操損を開きて、腰の處に輕く載せる、此姿勢は體操の基部では、手は腰部を云うて居る、肘は前に出ぬ樣、少りさく又後に出過ぎぬ樣、軀幹と殆んど同平面に置き、胸を輕く張るのである。

◇（一）、前屈は第一聚動で足をピンと張つた儘、軀幹を前方に倒し、凡そ四十五度の點に至らしめる、この時頭の位置をくづさぬ樣及び頭の位置をくづさず、元の姿勢の儘に保ちつゝ靜かに前方に倒し、凡そ四十五度の點に至らしめる、次いで靜かに軀幹と頭の姿勢をくづさずに、元の位置に持つて來る。體を倒した場合に臀が少しく後方に突出するのは、重心の關係上當然なことである。◇不來此運動は、第一の下肢の運動の逆で、下肢が働いたが、此場合には軀幹が固定して、下肢を固定して、軀幹を動かさうさして云ふのである。從つて働く筋は下肢の場合と同じく、腰腸筋と大腿筋が支互に作動、腿節の働きを行るので、ある此運動では腿を伸ばして下肢を固定する爲めに、下肢諸筋の靜的努力が大きい許りでなく、軀幹及び頭を正しく保つ爲めの靜的努力が、非常に多いのである。

◇如斯努力の多い運動であるから、呼吸の關係を顧慮することが頗る必要である。即ち先づ息を吸ひ込んで後ち、徐々に之れを吐きながら軀幹を前方に倒し、丁度四十五度に達した頃に吐き盡し、再び息を吸ひながら元の姿勢に歸る。そこで一遍呼氣と吸氣を行つて更に第二回目の運動を始めるのである。

◇（二）、後屈は胸椎の運動であると、脊柱の中で胸椎の部分は吾人の日常生活に於て、最も運動の少ない部分であるのみならず、職業的動作の關係から兎角に此部分が正常の姿勢から狂ひ易いのである。之れを矯正しなければ又不能働性萎縮に陷ると同時に、此運動の主眼點である。夫れ故に此運動で曲げ可き胸椎で腹壁が收縮し、腹腔の容積が減少して、腹腔内の諸臟器卽ち胃や腸や膀胱や或は又肝臟等に壓迫を及ぼすのである。◇總て如斯腹筋の收縮により、腹腔諸臟器を壓迫する現象を、學問の方では腹壓と云うて居る。前に述べた二つの運動、卽ち後屈も前屈も亦、同じ理由で腹壓を惹起する。處で腹壓が腹腔の諸臟器に如何なる影響を及ぼすかと云ふに、最も其の影響を蒙るのは、胃や腸の壁には筋があつて、前にも述べた通り、澤山の滑平筋があつて、其の作用に依て蠕動運動を起し食物の消化吸收を助けるのである。◇處で之れ等の滑平筋は、既に述べた通り不隨意筋であるから、吾人の意志の支配を受けない、卽ち自律的に活動するのであるから、吾人が直接に吾人の意志に由つて、其の能働性肥大を促すことは出來ないが、腹壓の結果として、之れ等の諸臟器が壓迫せられ、次いで腹壓の減退するや再び擴張する爲めに、茲に一種の按摩作用が起り、滑平筋が刺戟せられて、蠕動運動が盛んになつて來る、言を換へて言へば、腹壓の結果として間接的に滑平筋が能働性肥大を惹起するのである。



圖解其ノ二

◇紳士體操圖解其の二（記事參照）

◈母は妾の爲に一文の遺産も

一文の借金も殘して置きませなんだ

▽——道のために一生を捧げたいと思ひますと

▽——それでも妾は母の遺志を繼いで法の爲め

『氣焔を吐けば吐かれぬ事もありませんがまだ修業中で海のものとも山のものとも判らない私が……』と小聲で一寸挨拶な標語さして我等の…

◈婦人會を 創設した奥村五百子女史の遺族奥村俊子女史は法の爲め道の爲め亡き母の遺志を繼ぐ可く池京五旬…

奥村俊子女史

[illegible]

◈母は朝鮮 の開拓には… [illegible]

◈宮本長官 にお目に掛つて… [illegible]

◉狂犬 京城吉野町一丁目九十一番地境某の飼犬は一箇月前野犬より咬まれしが頃日異狀を來したれしより獸醫診斷せし結果九日狂犬と確定卽日撲殺せり

◎呼び違ひ

二四四と二〇四四い人と思つたら××署

回電話の失敗いろ〳〵

京城郵便局では電話の實績調査と云ふ事を始めて特別巡回を實行して居るが加入者が番號を間違へて或人から二四四番の加入者へ電話があつて二〇四四番ですかと念を押して借話し出したが二四四番では全然で

▽△飛んだ 失敗をやつてる事を發見した二二の紹介して見よう

▽△藥瓶に 二四四番と書いてあり乍ら違ふとは怪しからぬと云つて怒鳴り散らして電話を切つて了つた後で調べて見ると××病院は二〇四四番で全く〇を見落したものと判つたこんな實例は澤山あるもう一つ五七番から酒に醉つただらしない

▽△無關係 な事件

を話して居るのでソンナ事は私の方には判りませんと斷ると先方はしようは『イエ違ひます』『それでも二四四番だから貴方は××病院でせん『それでも此方は病院ではありません』と云つても

▽女の聲 で之を電話を掛けて來たそして喋々喃々關係の無い事を廻らぬ呂律でしやべり立てるので隨分當てられ『此處はお門が違ひます』と云つても引き下らぬ何と云つても話を止めぬ遂に『此處は

▽△××署 だぞ』と怒鳴つたところが喫驚して電話を切つたこんな例は珍らしくないが換手の間違許りで無く加入者にも隨分不注意はあるのであるとは當局者の話

◎新設工業會社

農商務省の調査に依れば五月中に…十七萬四千五百七十圓の減少に當り別紙は左の如し（東京）

るが一月以降累計は社數七百七十四資本四千八百九十九萬一千三百

業別	社數	拂込資本金(圓)
釀造飲食物製造	二九	[illegible]

◎鑛業試掘激增

農商務省鑛山局調査に係る本年…受け各種鑛業の勃興に基因するもの…のなり而して之を細別すれば

東京	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪	[illegible]	[illegible]	[illegible]
福岡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
札幌	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◎邦人義勇兵名譽の戰死

愛媛縣喜多郡新谷村福田賀吉氏は英國加奈陀より義勇兵として出征中の處この程名譽の戰死を遂げたりとの報あり（大阪特電）

◎驕著けた刑事が咽喉を突く 元署長の自殺

元京都府伏見署々長なりし奥村信氣は現京都府下…商會長佐藤菊之丞(四十)は八日剃刀にて自殺したるが其原因は五條署刑事小田原某と…に咽喉を突き自殺したり右に就きて目下取調べ中なるも佐藤は神經衰弱のため刑事は恩人に同情して斯る始末に及びたるなりと（京都電）

◎府會議員收監 京都府會の瀆職事件に關して府會議員山下元治は十日收監せられたり（京都電報）

◎兇賊五名逮捕 旧報五月三十日夜二時頃忠南瑞山郡南面月山里林某斗方外二箇所を襲ひたる約十人組の强盜團に就ては附近各警察にて嚴重搜索中なりしが本月八日内五名を大田憲兵分隊にて逮捕し目下取調中

◎小林畫伯展覽會 東京洋畫界の大家たる小林萬吾氏は朝鮮觀光のため數日前入京旭町片山鮮銀理事宅に滯在中なるが近々その攜帶せる作品四十五枚を銀行集會所に陳列約一週間洋畫展覽會を開く由

◎都戀しさから四十女の刃傷

京城轉住を肯かぬと亭主を滅多斬りにす

京畿道長湍郡津東面東坡里農梁某の妻成順德(四十)は去る四月中久方振りにて約二週間京城の實家に歸省し見れば道は半島の首都たる繁華の土地柄とて華美の盛裝を凝らせる

▲富豪や 貴族の令孃婦人などの風采に擒獲れつゝも已むなく一先づ田舍の長湍に歸りしが如何しても都の空が忘られず京城に歸り美裝して生活したき旨を夫梁に訴へしも肯き入れられず然らば離婚し呉れと迫りしに是又拒絶…

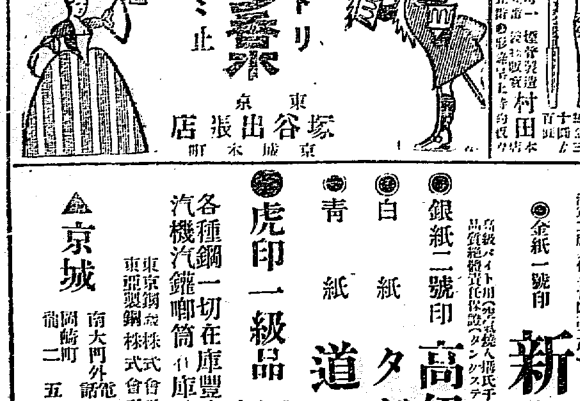
廣告

本道管内ノ産繭ヲ共同販賣ニ付入札參加希望者ハ入札人心得ニ依リ豫メ本道ノ承認ヲ受ケラルヘシ『入札人心得入用ノ向ハ申込次第送付ス』

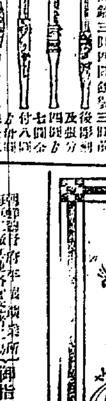
京畿道

◎奉天の野球試合 滿鐵奉天學堂對安東驛滿鐵チームの野球試合は九日午後開催せしが九對二にて學堂側の大勝に歸せり（奉天）

◎訂正 前號朝刊三面『金銀細工製品々評』記事中「黄宗錫」は黄の誤植に付訂正す



東京 塚谷出張店 京城本町



…村田本店 東京京橋區 振替東京… 電話京橋…

日本一おかしい本 滑稽萬出珍書珍談 アゴはづし

内容がよくもこんなに珍に面白くおかしく出來たじやないか、大供でも小供でもおへソの宿替へ所か腹わたのでんぐりかへりアゴがはづれて鼻の下助けつばなしかね。菊半截美本特價五十錢前金は送料四錢ハガキで注文あれば代金引替送料實費で送る振替東京一五四一〇 東京淺草瓦町用岸通 壽文堂

◉人の氣つかぬ有望職業

▲此際奮奮無代進呈 ▲男女會員大至急募集

俸の費用と勉强により自宅獨立でき開業の上は月收ごく高收入府出身も及ばざるあり科目は電氣マッサージ灸術鍼術學力不問程度開業は當地官廳免許内地外共自由ハガキで申込次第規則見本送呈す 東京本郷高等學校前日本鍼灸學院

縞セル 一反只の二圓卅錢

東京市日本橋區本石町一丁目吳服問屋關谷商店にて今回三千有餘反の新柄縞セル地を引取りたるが品質優等なる上等品なるも都合上只の如き捨値段で一反夕ツ夕乙號二圓三十錢甲號三圓三十錢別製品五圓三十錢と云ふ法外の安値にて賣始めたが一見十圓以上の本セルと何等擇ぶ所なき新柄セル地なれば忽ち湧くが如き好評にて日々多數に賣れ行きつゝあり且つ同店は地方部設置記念週年に相當するを以て特に一反の注文毎に一個宛無代進呈をなすと云ふ因に希望者は懇切に見本を送るから男女別年齡色柄を記しハガキにて申込めば親切に見計らひ送料も無料で送るとの事

支部營業開始廣告

一、有價證券現物賣買 當社は大正七年三月三十日公布の有價證券割賦販賣取締法に據り設立

一、勸業債券割賦販賣

大日本債券株式會社朝鮮支部

勸業債券 支部 京城府光化門通電車停留場角（電話一四四七番）

高價買入 本社 大阪市南區末吉橋通一丁目二十一番地

地方出張所長、代理店長、及有給外勤社員招聘希望者は自筆履歷書添附申込れたし（返信料參錢切手封入の事）

易斷

高島易斷本部主事高島香明先生出張受付午前八時より十一時まで午後三時より十時まで 場所 京城旭町一丁目日ノ出湯前（電話一五七二）

神易協會 高島易斷本部

宮澤式 農家園藝家の大福音 石油合劑

定價 大 卅五錢 小 十八錢

本劑は固形體にして農作物果樹園藝の害蟲を完全に驅除撲滅し作物に絶對無害且つ經濟的なり

衛生の大王

本劑は完全なる防臭劑にして且つ蠅蚤の發生を防ぎ最も驅除に困難なる南京蟲の如きも五十倍若くは百倍位にて容易に死滅驅除すること妙なり

特約販賣店御希望の方は見本代金に送料八錢を添至急申込あれ

製造元 東京市神田區西小川町二の七 振替東京四一四五九 電話九二一三番 宮澤合名會社

安住かとりせん香

信用生産額共第一 代表的最優品

品質は年々進步 定價は戰前に同じ 是れ國産の賜に御座候

到る處の藥店及び小間物屋にて販賣す

大阪北區曾根崎町 安住大藥房

◉金紙一號印 新高速度鋼

海軍工廠其他各官廳諸工場御指定品 御用達

◉銀紙二號印 高級バイト用鋼

高級バイト用(空氣燒入摂氏千三百度以上) 品質絶對保證(タングステン一五パーセント以上)

◉白紙 タガ子用楕圓鋼

◉青紙 道具用鋼

◉虎印一級品青紙 八角鋼

商報御申越次第進呈

各種鋼一切在庫豐富 汽機汽罐喞筒在庫豐富

東京鋼鐵株式會社 東亞製鋼株式會社 朝鮮代理店

▲京城 南大門外 電話一〇四番 電話一〇〇五番 中根商會

岡崎町 電話二五六番 中根工場

妻の心 五

小林蹴月作　武内桂舟畫

（二）の一

『はッ、はゝ、此處だつて東京から何哩か離れて居るんだから、空氣も違へば氣分も違ふと云ふんだよ。何も故意に汽車の煤煙を浴びて、箱根くんだりまで乗出して行かずともの事だね。箱根は成金の登る山だが、此處は海と云ふ快濶な展望があるから、寧ろ一層の景色だ。』

今汐湯から出たばかりと見ねて柄の荒い旅舘の白地浴衣に、新造魚のやうな胸を寛ろげ、胡座を搔いて、愉快さうに片肱を脇息に凭せて居るのは、小肥りに肥つた[illegible]の三十五六……金歯が二三本前の方に輝いた一紳士の前には、是も等しく湯上り姿のしどけない二十三四の仇物……故意に束髪の奥さま風に裝つて居るもの丶、隱されぬはその絲爪！素性は改めて說明するまでもあるまい。

『本統に好い心持で御座いますわね。能く新聞や何かで、森ケ崎ッて云ふ事は見て居ますけれども、東京の附近に恁麼暢びりとした所があらうとは思ひませんでしたわ。』

『眞個閑靜だね。永久に恁麼所へ別莊でも建つて住んで居たく思ふよ。』

『ほ、ほ、ほ、眞個ですわね。好いた同士二人きりで、一生恁麼所に住む事が出來たら、甚麼に嬉しいでせう。』

美人は、稍甘たるいやうな調子で、仄めかすやうに云つて、艶のある眼元に、しげ〳〵と紳士の顔を覗上げる。

『望みとありゃ、雲のない話さ。別莊の一軒や二軒、悟慶所へ建てるのには、四五萬の金を掛けりゃ忽ちのこッたよ。』

紳士の相格は、何處ともなしに崩れた。

『そりゃお金の點から云つたら然うでせうけれども、然う云ふ親切の人が、滅多に世の中に在るもんぢゃ御座いませんわ。』

『なアに、無い事があるもんか、お前が希望とあれば、僕が建築してやるさ。』

『嘘でも然う被仰つて頂けば、妾嬉しくてよ。お先へお禮を申しときませうかね。』

『は、は、は、紙花ではお禮の印合がないから、兎角浮世は、實物を見てからの事さ。』

『それも然うですね。そんなら好い夢の前兆と思つて、娛みに爲てませう。』

『今日はまアその下檢分に來たと思つて諦むるべしだね。僕も幸ひ會社の決算期も了り、政界の方も差當り是と云ふ突發的の問題がないらしいから、とてもの序に二三日は、ゆるりと静養して行く了簡だがね。』

『結構で御座いますわ。二三日はおろか二週間でも三週間でも……。』

『冗談を云つちゃ不可よ。お前の方は營業づくで宜いかも知れんが僕は是でも聟養子の身分だからね いや、小糠三合を持つたら婿に行く可らずとは、實際穿つた語だテ近來に及んで、僕は益々痛切にその感が深くなつて來たので、自分の家へ還るのが何だか穴の中へ入るやうな不愉快さに堪へぬが、かと云つて、萬般の關係上還らずに居る譯にもゆかんし、實に〳〵當惑し果てとるんだよ。』

『だから、函根へ急用があるなんて嘘の電報をお打ちになつて、妾を此の森ケ崎へ連れて來て下さいましたの？』

『飜譯して見りや、そんなもんだね。お前のやうな活菩薩の功德で二日間でも三日間でも、穴の中の苦痛を濟度して貰ひたいもんだよ。』

『憎らしい事ばッかし。好い加減に上下しといて頂戴よ。妾のやうな芙迦は、つい本統に爲ますからね。その癖ね、町川さん、貴郎のやうなお方は、お宅へお歸りになればなつたで、一體全體世の中の藝妓なんて奴は、義理人情の辨別がなくて……なんかんと、妾達の事を散々腹おけなしになつて、そして一生懸命奥さまの御機嫌をお取りになるんでせう。その時の貴郎のお顔を寫眞に撮影て見たいわね。ほ、ほ、ほ。』

『いやな、僕も實際然う云ふ風な口上手になりたいと思はんでもないが、什うしても然うなれんので閉口しとる所さ。お前の前だがね、吾輩の妻と云ふ奴は、宛然生きるか死ぬるか分らんやうな女だ。幽靈かと思へば、實物のやうでもあるし、實物かと思へば、影のやうな人間なんだよ。それぢや男子として家庭上の趣味も慰藉もある可き筈がないだらうぢやないか。加之に、お前も知つとる通り、小供と云ふ者があるではなしさ。まあ、若龍君、察して呉れ玉ふべしだねッ、あは、は、は。』

紳士は、女中の運び來つたビールを引寄せて、手からその盃を取揚げたのである。

京城本町二丁目 正氣堂 電話二九五番 振替京城一二八三 ▲御一報次第見本送呈

新刊紹介（到着順）

▲堀部安兵衛（細玉瀉） 講談の面白さ本にて讀み方も新らしく古賀を穿して嶷つた所を講演せるは本講談の特色とすべく而かも五百頁の大冊が四十錢とは無類の廉價さいふべし（東京博文館）

▲朝鮮鑛業會誌（一の六） 佐藤信淵の山用學（渡邊博士）朝鮮の林況と國營林（田中山林課長）[illegible]

▲露西亞評論（六月號） レニン政府の[illegible]

▲東方時論（三の六） 東京麹町區平河町 東方時論社

▲考へ方（六月號） 二十一錢 東京神田北神保町一三 考へ方研究社

▲經濟資料（四の六） 二十五錢 東京麹町區有樂町一の一 滿鐵東亞經濟調査局

▲東洋皮革新誌（一六二） 十錢 大阪東區淡路町二七の七 共社

▲自由評論（六月號） 十五錢 東京赤坂區[illegible]町七の一 三正社

讀者の領分

▲旭町の某酒店より發賣せる五十錢六十錢位の[illegible]は其の腐敗を防ぐため多量のホルマリンを混入し居る爲め[illegible]（愛飲生）▲[illegible]

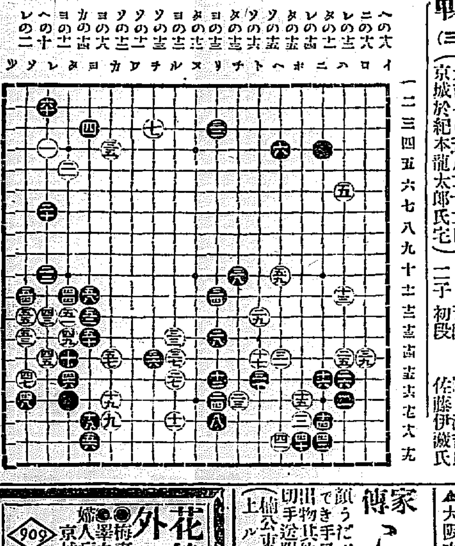
碁戰（三）

（大正七年五月二十二日 京城於紀本龍太郎氏宅） 二子 五段 [illegible]源吉氏 初段 佐藤伊藏氏

○四一 への六 ●四二 ニの六 ○四三 レの圭 ●四四 タの土 ○四五 レの古 ●四六 タの圭 ○四七 ソの圭 ●四八 ソの夫 ○四九 タの圭 ●五〇 ヨの圭 ○五一 タの土 ●五二 ヨの圭 ○五三 ソの圭 ●五四 ソの土 ○五五 ソの圭 ●五六 ヨの六 ○五七 カの古 ●五八 ヨの土 ○五九 への十 ●六〇 レの二

イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル チ ア カ ヨ タ レ ソ ツ

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 土 圭 圭 古 圭 夫 七 大 九



米國の富豪税

其[illegible]三分の超過所得税を支拂ふ[illegible]
▲[illegible]同四百八十萬弗 ▲ハークチス同六百二十五萬弗同四[illegible] ▲アルムール同六百二十五萬弗同四百[illegible] ▲フォード同五百萬弗同三百二十[illegible]
輸出總額は六百九萬四千二百斤に[illegible]斤に過ぎずして實は大部分烏龍に[illegible]して北貿額三百五萬七千七百斤に[illegible]

上等鉛筆 大見切
一本小賣二三錢以上の品全部取揃 九百本入 參圓半 四百五十本同 貳圓 送料共 代金引換へ 一荷送費を除き一本僅三厘 外十錢 小卅錢 小廿錢 十錢
家庭用其他萬般に 官衙學校御品 粗悪品なし 好品全部 時的商品に 萬一不良品の 節は交換又は返金の確實なる條件を附す
東京北千住中組百十六 [illegible]商會

卸値で小賣す
今大阪で大流行の 優等 男女 浴衣地
◎特價甲號 武圓八十五錢 ◎特價乙號 三圓四十五錢 ◎特價丙號 四圓五十錢
弊店儀は來御贔屓を蒙り業務の發展に伴ひ地方顧客諸彦の御便宜を計らん爲今回地方通信小賣部を新設し品質優良保證付の物品を特選し左記の通り大々的特價にて提供可致候間續々御用命願上候
注意 御注文方法は年齡納好等御申越下されば親切に御見立送附可致候 萬一不向の品は交換又は返金仕候
大阪市東區粉河町二七 萬屋呉服店地方部

りん病七日藥
◎淋除 淋除はいやでも治る奇藥也 ◎膀胱加答兒 ◎慢性淋病 ◎女子淋病 七日分 一円 服用せよ説明書送呈す
大阪堺筋八幡筋北 山口藥院

胃がん
にて困難の方は悲觀する勿れ効能ある良藥あり往復葉書で申込あれ詳報す ○播磨國明石西魚町元木眞一

中風病 全快謝告
余元大阪府教員なり數年前中風病に罹り色々藥や療法を盡したが効なく到底不治の難病と斷念したに加古郡明石仲町加古忠兵衛氏發見の中風病劇藥を服用して全治し幸福を得ました依つて同病者救濟の爲め同氏發行の有益なる中風病療養書を無代頒布して上ますから請求し得られよ 直接加古氏へ照會あれ
▲大阪市東區森之宮西の町駒本茂

家傳 らい病藥
顔うだばれ 涙いで眉毛ぬけ 體あざでき手足しびれ 水ぶくれ 出物其他らい病に特効 切手送附あれば詳報す 神戸市楠町二 （楠公東門上ル角）家本 石井佐兵衛

花柳病 外科 専門
◎梅毒 ◎淋病 ◎泌尿生殖器病 ◎婦人病 ◎痔瘻 ◎皮膚病 ◎京城南大門通 ◎東大門 ◎神經衰弱 ◎ヒステリー
京城南大門通農工銀行裏 司生堂醫院 電話三〇六五番 909

內科 胃腸病 診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三二九番 一七九番

毒の病の療治に入梅時が一番よい
梅毒かんそうこれ癩病消かちりウマチ神經病たい毒皮膚病らい病るいれき其他四十八かさ毒の病の輕きは二三服十年の重きも撲滅奏功神の如し注射代用として秘密に療治のできる本を密送すハガキで申込め 東京本所吉田町八 杉山豪山
無代進呈 三十六代つゞいた一子相傳の大靈藥

贊化病院 京城明治町一丁目 電話二四〇番
內科 小兒科 入院隨意 毎日五名を限り無料施療す
醫學博士 古城憲治

純國産

葡萄酒召すならホンモノを

國産御奬勵の御聖旨に基いて 日本で初めて出來た

テーシー印 ポートワイン
花屋のフロース赤葡萄酒 オンテルン白葡萄酒 セミジヨン赤葡萄酒

絶對に日本産の原料を用ひ 帝國シャンパン會社が全責任を以て 世界の本場たる佛國の技師がこしらへた 東洋でたゞ一つのホンモノの葡萄酒はこれです

國を愛し健康を重ずる人は カレコレとお迷ひなく毎日缺かさず召上れ 一杯毎にズン〳〵と元氣を増し メキ〳〵と躰力を殖す

釀造元 帝國シャンパン株式會社
資本金 二百萬圓（拂込濟）
直營農園 百五十町歩
社長 男爵 武井守正氏
技師長 エッチフック氏

發賣元 大阪東區備後町 花屋商會

李王職御用 模範 牛乳
洗粉 石鹸 ニッソ
場主 肥塚正太
京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話五二番

りん病ばい毒 患者諸君
□にせドラッグあり御注意
近來東京其他各地に偽ドラッグ商會の現れざる様御注意下さい京城には花柳病専門藥房ドラッグ商會以外に決してドラッグ商會と稱する者は全く不正の奸商なり
本舗大阪 京城南大門外停車場通 花柳病専門薬房 ドラッグ商會
京城黄金町三丁目 [illegible] 大阪ドラッグ商會 同 [illegible]
電話二五六七番・振替京城四六七番

京城龍山等各地に僞物有御注意 詳細は本月六日本紙を御覽

大阪商船 汽船出帆

仁川出帆
◎神戸、大阪行 日清丸 六月十一日 後五時出
△能登丸 六月十四日 後五時出

元山出帆
◎西湖津、新浦、城津、淸津行 宮島丸 六月十二日 後十二時
◎釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 安平丸 六月十一日 後九時出

大連出帆
◎上海、基隆、打狗行 湖北丸 六月九日 前六時出
基隆丸 六月廿一日 後四時出

內地各港出帆主要航路
歐洲行 一年四回
南米行 一年四回
濠洲行 毎月一回
北米行 毎月二回
孟買行 毎月二回
南洋行 毎月一回

御注意 [illegible]
大阪商船株式會社仁川支店 電話二三〇番 二五〇番
京城 切符發賣所 [illegible]

間自動車著發時刻 金泉支部

[illegible]

汽船 釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 和歌浦丸 月 日後五時出
立神丸 月 日後五時出
○元山、淸津、浦鹽行 和歌浦丸 月 日後十時出
立神丸 月 日後四時出
○佐須奈、嚴原、鄕ノ浦、博多行 天眞丸 毎月二日、九日、十四日、廿一日、廿六日 午後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三琴平丸 月 日後六時出
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 四月 日後六時出
本船取扱店 釜山池坪立新町 大池回漕部

朝鮮郵船出帆

○浦汐行 大阪發門司、釜山、元山、城津、淸津經由 六月十八日 釜山發 / 六月二十日 元山發
○敦賀行 淸津發城津、元山經由 平壤丸 六月十九日 淸津發 / 六月廿二日 元山發
○雄基行 [illegible] ×京畿丸 六月十四日 釜山發 / 六月十七日 元山發
咸鏡丸 六月十九日 釜山發 / 六月廿三日 元山發
○元山雄基線 鏡城丸 六月十一日 元山發
○大阪行 平安丸 六月十四日 / 六月十六日
○關門行 ×慶耶山丸 六月十五日 元山發 / 六月十八日 釜山發
忠淸丸 六月十一日 元山發 / 六月十五日 釜山發
○金剛山遊覽便 [illegible]
穩城丸 六月十三日 元山發
○鬱陵島行 孟德丸 六月十二日 釜山發
○釜山浦項線 江陵丸、甦場丸 毎日 釜山浦項發
○濟州島行 昌平丸 六月十日 釜山發
○濟州島行 木浦發
○東廻 慶興丸 六月十二日 西廻 公州丸 六月十九日 木浦發
○釜山麗水線 濟州丸、巨濟丸、統營丸、毎日 釜山麗水發
○木浦麗水線 金海丸 六月十日 木浦發
○多島海行 公州丸 六月十四日 木浦發
○木浦行 慶安丸 六月十三日 仁川發
○海州行 錦江丸、成歡丸 毎日一回 仁川海州發
○鎭南浦行 晉州丸 六月十六日 仁川發
○靑島行 江原丸 六月十一日 仁川發
○鎭南浦大連直行線 宗信丸 六月十二日 鎭南浦發
◎朝鮮沿岸線及社外船ト荷客聯絡運送ノ便アリ
本社 京城南大門通 電話一九五〇
釜山港佐藤町 釜山支店 / 元山港 元山出張所 / 仁川港海岸通 堀回漕部 / 木浦 代理店 山野回漕部 / 京城荷客取扱店 京城南大門驛前 松原運送店

阿波共同汽船仁川出帆

大連直行 共同丸 六月十三日後入港 六月十四日後出港
阿波共同汽船株式會社 仁川代理店 本町四丁目 野口商會 電話一七三番
元山代理店 田口回漕部
京城取扱店 河村運送店

尼崎汽船仁川出帆

下關、大阪直行 第一太湖丸 六月 日後四時出
大有丸 六月八日 日後四時出
群山、下關、神戸、大阪行 君が代丸 六月十一日 後四時出
仁川海岸通三丁目 杉回漕部

日本郵船仁川出帆

大連行 天津行 相模丸 六月十九日
三河丸 七月九日
高砂丸 六月廿九日 正午出
仁川濱町一丁目 堀回漕部 電話十一番